



## 第3次鹿嶋市スポーツ推進計画

Colorful Stage KASHIMA through Sports

～スポーツで彩る健康で豊かなライフステージ～



令和4年3月

鹿嶋市





## 第3次鹿嶋市スポーツ推進計画 目次

---

### 第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2

### 第2章 現状と課題

1 鹿嶋市人口ビジョン	3
2 SWOT分析から見たスポーツ環境	4
3 社会情勢と今後の取組の方向性	7

### 第3章 計画の基本的な考え方

1 10年後の将来像	13
2 基本目標	14
3 成果指標	14

### 第4章 基本目標に基く取組と方針

1 クロスSWOT分析による戦略化アプローチ	15
2 基本目標の分類	16
3 計画の体系図	26
4 方針	27

### 第5章 計画の進行管理

1 計画の推進体制	49
2 計画の評価	49

### 参考資料

令和2年度 鹿嶋市における運動・スポーツに関する調査



## 第1章 計画の策定にあたって

### 1 計画策定の趣旨

本市では、市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、「いつでも・どこでも・誰もがスポーツを楽しめる、生涯スポーツ社会の実現」を基本理念とする第2次鹿嶋市スポーツ推進計画（平成24年4月～令和4年3月）を策定し、関係者の協力のもと適宜見直しを図りながら、計画に基づくスポーツ施策を実施してきました。

この間、本市においては、第74回国民体育大会のサッカー競技（令和元年9月30日～10月3日）、東京2020オリンピック競技大会のサッカー競技（令和3年7月22日～8月5日）という2つの大きなスポーツイベント開催に関わることにより、スポーツ施設の充実、大会運営のノウハウの蓄積をはじめ、様々な成果を得るとともに、ボランティアの方々の活躍や地域の方々のおもてなしなどを通じて、市民のスポーツに対する関心と意欲を高めることができました。

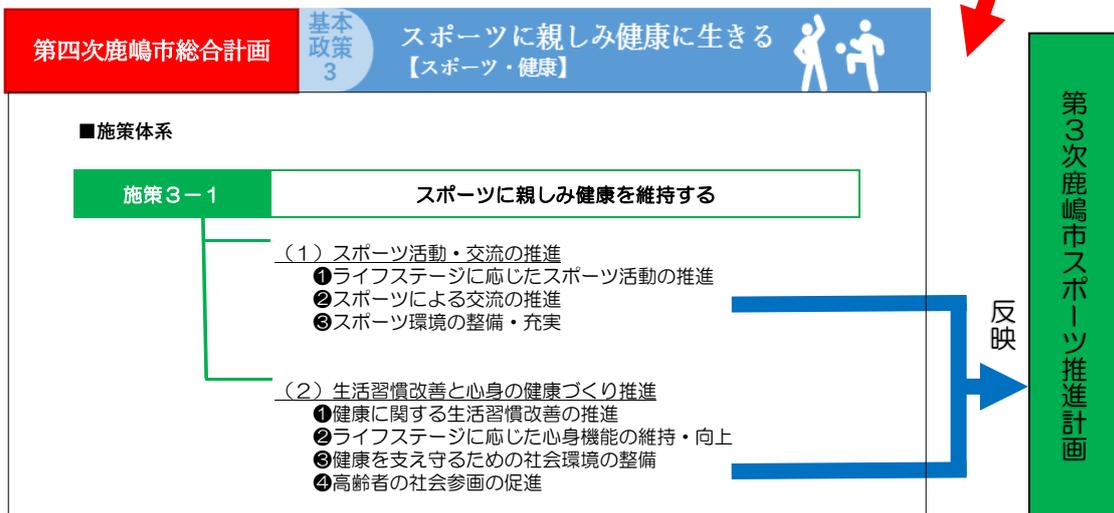
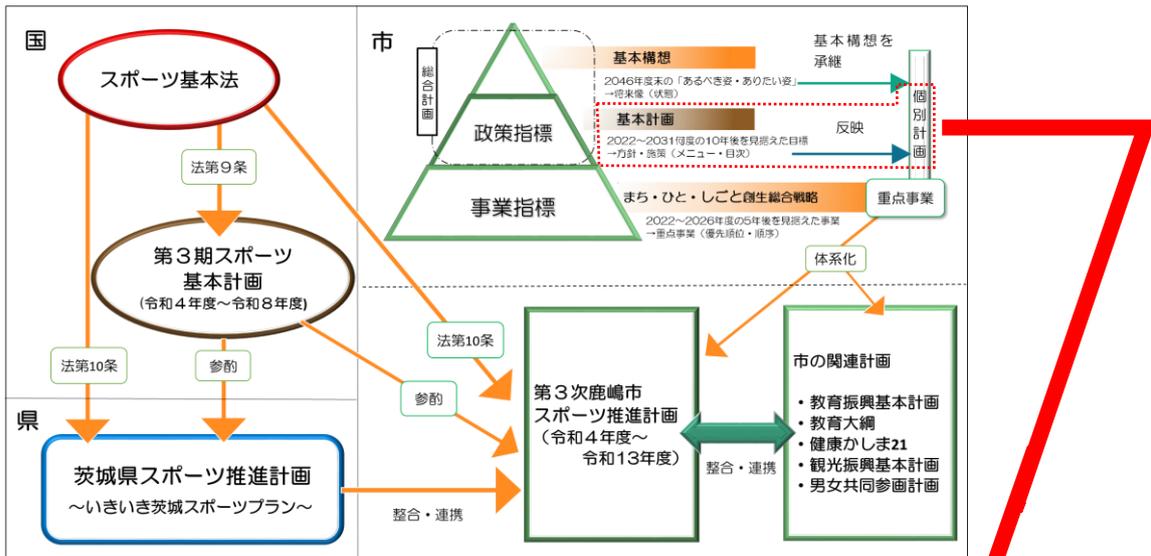
一方、令和2年から世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症は、社会や経済に多大な影響を及ぼすとともに、スポーツ分野においても多くの大会や関連イベントが中止・延期、規模縮小となり、スポーツを「する・みる・ささえる」といった活動が制約されることとなりました。

スポーツ活動は心と身体の健康を増進するとともに、健康寿命の延伸や、将来的な要介護状態を回避できる有効な手段のひとつと期待されます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により新しい生活様式へ移り変わるなかでも、市民の日常にスポーツ活動が定着するとともに、スポーツを通じた様々な取組を本市のまちづくりにつなげていくために、国や県、その他関連計画との整合を図り、第2次鹿嶋市スポーツ推進計画の進捗状況や課題等を踏まえながら「第3次鹿嶋市スポーツ推進計画」（以下、「本計画」という。）を策定します。

### 2 計画の位置づけ

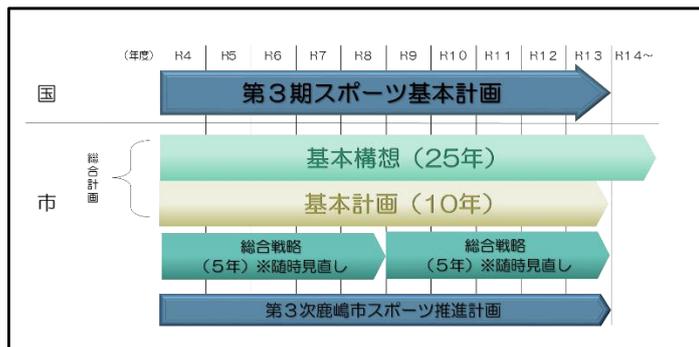
本計画は、スポーツ基本法第10条に定める「地方スポーツ推進計画」に位置付けるとともに、国の「第3期スポーツ基本計画」及び「茨城県スポーツ推進計画」を踏まえ、本市の上位計画である「第四次鹿嶋市総合計画の基本計画」及び「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」を推進するための個別計画として、具体的な取組の方向性を示すものです。

なお施策を推進するうえでは、その他の関連する個別計画におけるスポーツ施策と整合・連携等を図ってまいります。



### 3 計画の期間

本計画の期間は2022年度（令和4年度）から2031年度（令和13年度）までの10年間とし、計画の進捗状況や市民ニーズに反映される新たな課題、社会情勢の変化等に対応するため、5年目に計画の見直しを行います。



※年号について 「R」表記は「令和」の略とします。次ページ以降も同様とし、「H」表記は「平成」、「S」表記は「昭和」の略とします。



## 第2章 現状と課題

### 1 鹿嶋市人口ビジョン

わが国の総人口は2007年（平成19年）をピークに減少に向かい、高齢化率（65歳以上人口割合）も1995年（平成7年）の14.6%から2025年（令和7年）には30.0%まで上昇し、2065年（令和47年）には38.4%となり、約2.6人に1人が65歳以上、約3.9人に1人が75歳以上になると予測され、世界でも例のない速さで人口減少と少子高齢化が進むことが懸念されます。

一方、本市においては、2025年（令和7年）の人口は65,392人（うち年少人口11.4%、生産年齢人口55.6%、前期高齢者人口14.1%、後期高齢者人口18.8%）となり、2060年（令和42年）には人口48,756人（うち年少人口10.5%、生産年齢人口51.9%、前期高齢者人口12.5%、後期高齢者人口25.1%）まで減少すると予測されています。

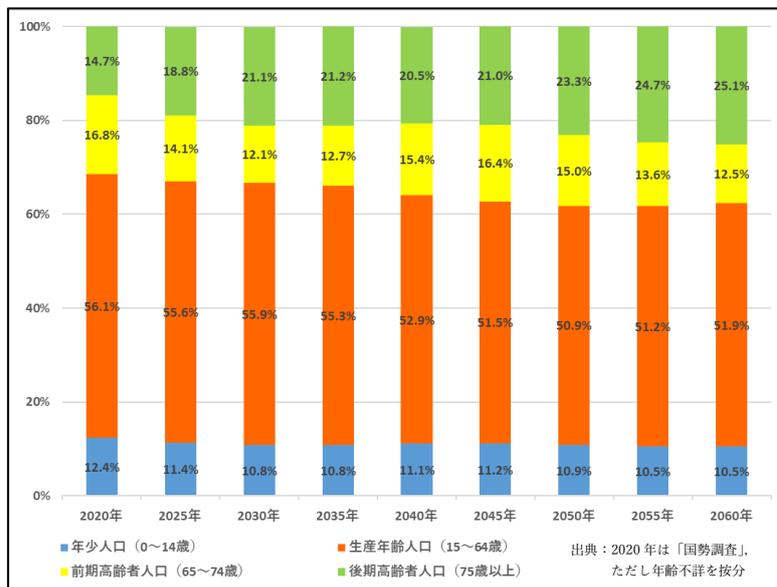
—参考：鹿嶋市人口ビジョン（2022年改訂版）—

#### ★2060年までの鹿嶋市の人口目標

（単位：人）

年	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
2015人口ビジョン	67,197	65,973	64,162	62,016	59,720	57,542	55,443	53,324	51,106
2020人口ビジョン （目標値）	66,950	65,392	63,458	61,222	58,790	56,368	53,904	51,391	48,756
2020人口ビジョン （低位）	66,950	65,139	62,917	60,387	57,659	54,938	52,153	49,295	46,296

#### ★2020人口ビジョンの年齢4区分別人口構成比の推移



## 2 SWOT 分析から見たスポーツ環境

自治体が現在置かれている状況と、今後起こりうる環境変化を分析するための基礎作業のひとつに SWOT 分析があります。この手法は、自治体の社会経済的環境を「外部環境（機会／脅威）」と「内部環境（強み／弱み）」に分け、今後の施策の方向性を導き出すフレームワークであり、計画等を策定するうえで重要な役割を担います。

鹿嶋市スポーツ推進審議会（※1）で SWOT 分析を行い、本市のスポーツ環境が抱える現状と課題等を取りまとめ、本計画を策定するうえでの検討材料のひとつとします。

—参考：SWOT 分析について—

### ★外部環境と内部環境の相関

	好影響	悪影響
内部環境	<b>Strength（強み）</b> 自治体のもつ強み➡ どのように強みを活かすか	<b>Weaknesses（弱み）</b> 自治体のもつ弱み➡ どのように弱みを克服するか
外部環境	<b>Opportunities（機会）</b> 公共の福祉を向上させる状況の変化や良い傾向 ➡ どのように機会を利用するか	<b>Threats（脅威）</b> 公共の福祉を衰退させる状況の変化や問題 ➡ どのように脅威を取り除くか、守るか

### ★内部環境分析

自治体が自らコントロール可能な要因（組織文化、人的資源、投資判断、リーダーシップ、資金力、市民との連携等）についての分析。強み、弱みにはヒト、モノ、カネ、情報等の資源が該当します。

### ★外部環境分析

自治体のコントロール外にある外部環境についての分析。機会、脅威には、主に下記の影響等が該当します。

- ①人口統計学的環境（人口増減、出生率の増減、核家族化、少子化、高齢化等）
- ②経済環境（為替、景気変動、経済成長率、産業構造の変化等）
- ③技術環境（Society 5.0（※2）、IoT（※3）、イノベーションの変化等）
- ④政治・法律環境（法律の改正、政府規制の強化・緩和、条例の制定等）
- ⑤社会・文化環境（多様性、ライフスタイルの変化、市民ニーズの変化等）
- ⑥自然環境（資源過不足、環境破壊、公害、災害、感染症等）
- ⑦競争業者（都道府県、市町村、政府、民間企業（潜在的競争者）等）

### 【用語・略語について】

※1：スポーツ基本法第31条の規定に基づき設置する組織。本市のスポーツの推進に関する重要事項について、教育委員会の諮問に応じ調査審議等します。

※2：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）

※3：Internet of Things あらゆるモノがインターネット通信機能を持ち実現する、新たなサービス等の総称

スポーツ環境の現状と課題等 (SWOT 分析結果)

	好影響	悪影響
	Strengths (強み)	Weaknesses (弱み)
内部環境	<p>S1 都市, 空港からのアクセスの良さ</p> <p>S2 プロサッカーチームの存在 (J1 トップチームでサッカーの街としての認知度向上)</p> <p>S3 サッカー施設の充実と温水プールの有効活用</p> <p>S4 サッカーフェスティバルのような全国規模のイベントや DMO (※4) の働きかけがあり, 全国からチームを呼べる環境にある</p> <p>S5 降雪量が少なく年間を通して温暖な気候</p> <p>S6 農業, 漁業があり地場地産食材がある</p> <p>S7 海, 湖, 川等がありビーチ, ウォータースポーツも可能</p> <p>S8 グラウンドゴルフが盛んである</p> <p>S9 ボウリング場がある</p> <p>S10 ゴルフ場がある</p> <p>S11 ウォーキングコース (神の道等) があり坂も多い</p> <p>S12 パラスポーツの普及 (ボッチャ等)</p> <p>S13 スポーツ組織や団体 (スポーツ協会・KSC (※5)・スポーツ少年団・サッカー・柔剣道等) がしっかりしており, それぞれが大会やイベントを開催できる力量を持っている</p> <p>S14 スポーツ協会や KSC で市民対象の教室やイベントを実施</p> <p>S15 スポーツ指導者が複数いる</p> <p>S16 公民館を核とした地域コミュニティが形成されている</p> <p>S17 市民や事業所, 企業がスポーツへの理解がある</p> <p>S18 成人のスポーツ実施率が高い</p>	<p>W1 産業構造の変化の過渡期</p> <p>W2 プロモーション, 情報発信の不足</p> <p>W3 電子申請手続き等に未対応</p> <p>W4 学校開放やスポーツ少年団に登録外の活動団体の集約化ができていない</p> <p>W5 競技団体内での大会は多いが, 一般市民を対象としたスポーツイベントが少ない</p> <p>W6 「サッカーばかりに力を入れている」という意見が多い。他のアマチュアスポーツの普及</p> <p>W7 スポーツを始めたい人へのサポートが弱い</p> <p>W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく, 公園等に健康器具や遊具が少ない (誰でも・いつでも・遊びもできる場所)</p> <p>W9 各競技団体同士, また市との連携が弱い</p> <p>W10 社会的マイノリティの方への配慮不足</p> <p>W11 サッカーのホームゲームの日 にスポーツセンター, 卜伝の郷運動公園多目的球技場が使用できない。また休日はイベント等でスポーツ施設の個人利用が難しい</p> <p><b>【参考意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー以外の全国規模の大会の開催や誘致する取組が弱い</li> <li>・二次交通網が脆弱</li> <li>・スポーツセンターの予約が困難</li> </ul> <p>※クロス SWOT 分析 (15 ページ) で抽出しなかった意見ですが, 本計画を推進する際の課題となるため参考意見として記載しました。</p>

	好影響	悪影響
	Opportunity (機会)	Threats (脅威)
外部環境	O1 オリンピック、国体を開催した実績とレガシー	T1 人口の減少(競技人口, 指導者確保)
	O2 英語教育の浸透と更なる推進	T2 気候変動による自然災害の多発
	O3 健康意識の高まり (特に個人でできるランニングやウォーク)	T3 超高齢社会による QOL (クオリティ・オブ・ライフ※6) の低下
	O4 健康寿命の意識の高まり	T4 自治会加入率減少による地域コミュニティの希薄化
	O5 ライフスタイルの多様化	T5 医療体制の不安
	O6 アウトドアスポーツ, ビーチスポーツの需要の高まり	T6 スポーツ少年団等加入者減少⇒将来の指導者減少
	O7 市民向けスポーツイベントで世代間・地域交流による地域活性化	T7 指導者の質の確保 (指導者の育成や待遇・雇用条件等)
	O8 中学校部活動への民間団体や市民の関心の高まり	T8 スポーツ指導者の高齢化と次世代への引継ぎ
	O9 退職後の社会活動の場の充実	T9 子どものスポーツ離れ (運動に対する興味低下)
	O10 少人数・幅広い年代で行えるレクリエーション要素の強いニュースポーツの拡充	T10 子どもの体力低下
	O11 カシマのブランドを利用した大会の誘致 (国際大会含む)	T11 教育費の負担増
	O12 プロチーム, 企業等と連携したスポーツ活動やスポーツイベントの連携と充実	T12 不登校, 引きこもりの増加
	O13 インバウンドによる外国人訪問者の増加	T13 女性のスポーツ離れ (特に子育て世代)
	O14 テレワーク浸透による地方移住者の増加	T14 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツを通じた(外部との)交流が薄れ, スポーツに関わる人々が減少する
	O15 多様性の理解促進と浸透	T15 更なる税収減等による厳しい財政状況
	O16 スマートシティへの移行	T16 公共スポーツ施設の老朽化
	T17 公共交通機関の衰退	
	T18 茨城県の認知度が全国で最低 = 鹿嶋市の認知度も低下	
	T19 企業のスポーツ離れ	

【用語・略語について】

※4：アントラーズホームタウン DMO (Destination Management Organization)

鹿行5市 (鹿嶋市, 潮来市, 神栖市, 行方市, 銚田市), (株)鹿島アントラーズ FC, (株)なめがたしろはとファーム, ザ・ロイヤルゴルフ, 関彰商事(株)の9団体で構成

※5：NPO 法人かしまスポーツクラブ

※6：Quality of Life 生活や人生が豊かであるということの指標となる概念

### 3 社会情勢と今後の取組の方向性

#### (1) 人口減少と少子高齢化

鹿嶋市人口ビジョンで示したとおり、人口減少と少子高齢化が進むことで、地域活力の低下や財政状況の厳しさが増し、さらなる悪循環を加速させる可能性があります。

この潮流はスポーツ分野においても例外ではなく、指導者の高齢化や、団員不足により活動困難となるスポーツ少年団も出てきており、少子高齢化社会が進行するなか、地域コミュニティを活性化させ、市民が健康でいつまでも元気に暮らしていくために、スポーツの果たす役割・意義はますます重要になってきます。

#### (2) 健康寿命への意識

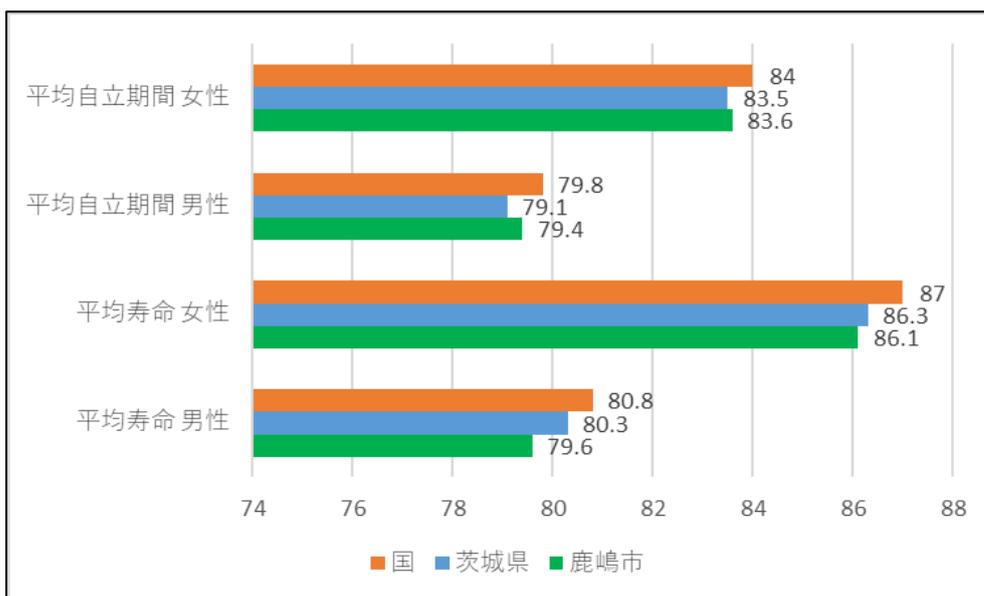
スポーツ基本法の前文には、「スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠」と規定されています。

我が国の国民医療費は年間で約42兆円に達するなか、スポーツを楽しみながら適切に継続することで、生活習慣病の予防・改善や介護予防を通じて健康寿命の延伸や社会全体での医療費抑制への貢献が期待されます（スポーツ庁ホームページより）。

健康寿命とは心身とも健康で、介護等を必要とせず、日常生活に制限なく自立して生活できる期間のことをいいます。健康寿命を伸ばすことで、自分らしく過ごせる期間が長くなるだけでなく、介護に係る期間も短くなるため、医療・介護費用を削減でき家族の負担軽減にもつながるほか、健康を維持・増進するために身体活動を増やし、適度な運動を実践することで、個人の抱える多様かつ個別の健康課題の改善が期待されます。

—参考—

★令和2年度 平均寿命と平均自立期間（健康寿命）比較 （単位：歳）



### (3) 東京 2020 オリンピック競技大会開催とレガシー

本市では令和3年7月22日から15日間にわたり、カシマサッカースタジアムにおいて男女サッカー競技を計11試合開催しました。

開催決定以来、市では各関係機関と協議を重ね、鹿嶋らしいおもてなしプログラムを数多く準備してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、1年延期、そして無観客での開催となり、当初の計画通りに国内外からのゲストをお迎えできませんでした。

しかしながら当初の予定から大幅な変更があったにも関わらず、最後まで大会運営に貢献して下さったボランティアの方々、声を出せない状況のなかでも工夫を凝らしスタジアムで応援をした小中学生の姿が、各国のメディアを通して世界中に発信され「KASHIMA」の名も同時に発信することができました。

ボランティアとして関わった人や、スタジアムで観戦した人は当初予定よりも少なくなりましたが、オリンピックレガシーの確実な伝道師となることが期待されます。

今後は、オリンピックを開催した地域ブランディングの推進とともに、オリンピック・パラリンピック教育から得た子どもたちの学びを、スポーツや文化を通じた次世代の人材育成レガシーとして、「スポーツによるまちづくり」に活かしていくことが求められます。

—参考—

#### ★カシマサッカースタジアム サッカー競技開催結果

日 時	対戦カード	
7月22日	男子	○ニュージーランド 1-0 ●韓国 ※学校連携観戦
	男子	●ホンジュラス 0-1 ○ルーマニア
7月25日	男子	●ニュージーランド 2-3 ○ホンジュラス ※学校連携観戦
	男子	●ルーマニア 0-4 ○韓国
7月27日	女子	アメリカ 0-0 オーストラリア (引き分け) ※学校連携観戦
	女子	カナダ 1-1 イギリス (引き分け)
7月30日	女子	準々決勝 ●イギリス 3-4 ○オーストラリア ※延長戦
7月31日	男子	準々決勝 ○日本 0-0 ●ニュージーランド P K4-2
8月 2日	女子	準決勝 ●アメリカ 0-1 ○カナダ
8月 3日	男子	準決勝 ●メキシコ 0-0 ○ブラジル P K1-4
8月 5日	女子	3位決定戦 ●オーストラリア 3-4 ○アメリカ



★学校連携観戦実績

(単位:数=人, 率=%)

	①参加予定者数(4/9)			②参加予定者数(7/1)			③参加者数			④欠席者数(②-③)			⑤参加率(③÷②)			⑥不参加者数(①-③)			⑦不参加率(⑥÷①)			
	児童生徒	引率	合計	児童生徒	引率	合計	児童生徒	引率	合計	児童生徒	引率	合計	児童生徒	引率	合計	児童生徒	引率	合計	児童生徒	引率	合計	
7/22	波野小学校	388	37	425	259	37	296	232	35	267	27	2	29	89.58	94.59	90.20	156	2	158	40.21	5.41	37.18
	豊郷小学校	141	24	165	115	31	146	110	29	139	5	2	7	95.65	93.55	95.21	31	-5	26	21.99	-20.83	15.76
	三笠小学校	731	85	816	523	70	593	449	68	517	74	2	76	85.85	97.14	87.18	282	17	299	38.58	20.00	36.64
	計	1,260	146	1,406	897	138	1,035	791	132	923	106	6	112	88.18	95.65	89.18	469	14	483	37.22	9.59	34.35
7/25	豊津小学校	46	24	70	29	21	50	29	22	51	-1	-1	100.00	104.76	102.00	17	2	19	36.96	8.33	27.14	
	鹿島小学校	632	78	710	377	52	429	313	46	359	64	6	70	83.02	88.46	83.68	319	32	351	50.47	41.03	49.44
	平井小学校	325	35	360	177	29	206	159	25	184	18	4	22	89.83	86.21	89.32	166	10	176	51.08	28.57	48.89
	鉢形小学校	214	31	245	163	26	189	132	22	154	31	4	35	80.98	84.62	81.48	82	9	91	38.32	29.03	37.14
	大同東小学校	248	32	280	142	34	176	127	28	155	15	6	21	89.44	82.35	88.07	121	4	125	48.79	12.50	44.64
	中野東小学校	252	33	285	148	31	179	126	26	152	22	5	27	85.14	83.87	84.92	126	7	133	50.00	21.21	46.67
	中野西小学校	70	25	95	55	25	80	52	20	72	3	5	8	94.55	80.00	90.00	18	5	23	25.71	20.00	24.21
	計	1,787	258	2,045	1,091	218	1,309	938	189	1,127	153	29	182	85.98	86.70	86.10	849	69	918	47.51	26.74	44.89
7/27	高松小学校	209	26	235	152	19	171	127	15	142	25	4	29	83.55	78.95	83.04	82	11	93	39.23	42.31	39.57
	大同西小学校	163	27	190	101	21	122	88	21	109	13		13	87.13	100.00	89.34	75	6	81	46.01	22.22	42.63
	鹿島中学校	500	55	555	306	36	342	263	32	295	43	4	47	85.95	88.89	86.26	237	23	260	47.40	41.82	46.85
	高松中学校	129	31	160	70	31	101	55	20	75	15	11	26	78.57	64.52	74.26	74	11	85	57.36	35.48	53.13
	鹿野中学校	262	33	295	126	32	158	97	29	126	29	3	32	76.98	90.63	79.75	165	4	169	62.98	12.12	57.29
	平井中学校	281	34	315	165	36	201	131	28	159	34	8	42	79.39	77.78	79.10	150	6	156	53.38	17.65	49.52
	大野中学校	330	45	375	173	30	203	143	27	170	30	3	33	82.66	90.00	83.74	187	18	205	56.67	40.00	54.67
	計	1,874	251	2,125	1,093	205	1,298	904	172	1,076	189	33	222	82.71	83.90	82.90	970	79	1,049	51.76	31.47	49.36
合計	4,921	655	5,576	3,081	561	3,642	2,633	493	3,126	448	68	516	85.46	87.88	85.83	2,288	162	2,450	46.49	24.73	43.94	
7/27	鹿島高校附属中	66	10	76	66	10	76	61	10	71	5		5	92.42	100.00	93.42	5		5	7.58		6.58

(4) 鹿島アントラーズとの関わり

1991年(平成3年)2月14日、Jリーグ初年度参加10チーム発表の日、「99.9999パーセントない」とされたJリーグ加盟を実現させたのは、立場を超え、垣根を取り払い、鹿島地域のためを思う人々の賛同と熱い思いでした。

チーム創設以来、鹿島アントラーズはJ1リーグ優勝8回を含む国内主要タイトル19冠、そしてAFCアジアチャンピオンズリーグ2018の優勝を合わせると、主要タイトル20冠を誇るJリーグを代表するフットボールクラブとなりました。また地域密着型のチームとしても、Jリーグが理想としてきた姿だと言えます。

「スポーツのまち鹿嶋」として市だけでなく地域を発展させていくには、今後も鹿島アントラーズFCとの連携が必要不可欠です。一丸となり成し遂げたJリーグ加盟当時の初心を忘れず、市と鹿島アントラーズFCだけではなく、“FOOTBALL DREAM”の名のもとに地域住民と、企業も一体となり、地域の活性化を生み、育んでいくことが重要となります。

## (5) 新型コロナウイルス感染症とライフスタイルの変化

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「新しい生活様式」を実践し、中長期に渡り感染症対策と向き合うなかで、運動不足から身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害も懸念されます。子どもの健全な発育・発達、テレワークの推進に伴う身体活動量の低下のほか、特に、中高年齢者については、生活習慣病等の発症や体力・生活機能の低下（骨や筋肉等運動器の衰え、認知症等）をきたすリスクが高まります。

一方でスポーツ庁が令和3年2月に実施した「新型コロナウイルス感染症の流行による国民のスポーツへの参画状況や意識の変化、健康状態等に関する調査研究」の結果によると、運動・スポーツを実施する意欲が「高くなった」「やや高くなった」という人は22.8%であるのに対して、「低くなった」「やや低くなった」という人は13.6%にとどまり、意欲が増加した人が9.2ポイント上回った結果となるなど、コロナ禍で、運動・スポーツに対する意欲を高めている人は増えています。

意識的に運動・スポーツに取り組むことは、健康の保持・増進だけでなく、ストレス解消、自己免疫力を高めてウイルス性感染症を予防することにも役立ちます。運動・スポーツ実施時の感染防止対策や屋外・少人数で運動する際の正しい感染リスクについての情報発信を行い、運動・スポーツへの意欲を減退させない取組が必要となります。

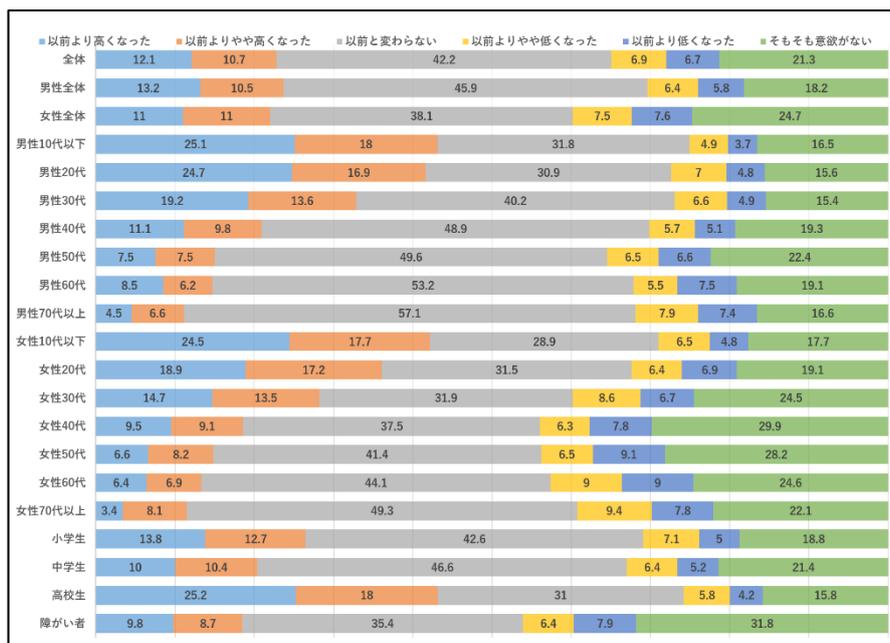
—参考—

### ★感染症拡大前後でのスポーツに対する意欲の変化<実施意欲>

※出典：スポーツ政策調査研究事業調査結果報告書（スポーツ庁）より一部抜粋

#### Q スポーツを実施する意欲

(単位：%)



以前より高くなった + 以前よりやや高くなった	
全体	22.8
男性全体	23.7
女性全体	22
男性10代以下	43.1
男性20代	41.6
男性30代	32.8
男性40代	20.9
男性50代	15
男性60代	14.7
男性70代以上	11.1
女性10代以下	42.2
女性20代	36.1
女性30代	28.2
女性40代	18.6
女性50代	14.8
女性60代	13.3
女性70代以上	11.5
小学生	26.5
中学生	20.4
高校生	43.2
障がい者	18.5

## (6) スポーツ×SDGs

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」(以下「SDGs」という。)とは、2015年(平成27年)9月の国連サミットにおいて採択された2030年(令和12年)を期限とする、先進国を含めた国際社会全体の開発目標であり、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

これを受け、我が国では、2016年(平成28年)5月、政府内に設置された「持続可能な開発目標 (SDGs) 推進本部」により、同年12月に「持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針」が決定されています。同指針では、各地方自治体に、各種計画や戦略、方針の策定や改訂にあたってはSDGsの要素を最大限反映することが奨励されています。

またスポーツ庁においても、スポーツの力(スポーツの楽しさや喜びを人々と共有する。健康的な生活を送りながら社会の課題を解決する。国境を越えた絆をつくり世界や人々とつながっていく等)を活用しSDGsの達成に向けた取組を推進することで、SDGsの認知度向上と、社会におけるスポーツの価値のさらなる向上につながるとしています。

本計画の策定に当たっては、このSDGsの視点を基本目標・方針等に反映させていきます。

※出典：スポーツ庁ホームページ



## (7) 社会体育×学校教育(学校体育)

社会体育とは、各競技団体やスポーツクラブなどのスポーツ団体が地域社会等で行う体育活動であり、様々なスポーツの場を提供するだけでなく、世代間の交流、超高齢社会の対応、健康づくり、体力の保持増進など、地域コミュニティづくりの役割を担っています。

一方、学校教育の一環として行われる運動部活動は、スポーツに親しむとともに、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資する重要な場であるため、スポーツ庁においても充実させる取組を推進していますが、教員の働き方改革に加え、少子化やニーズの多様化等により、運動部活動の在り方の再考が求められています。

子どもたちがスポーツに親しめる環境を、地域の格差なく整備することが重要となることから、地域のスポーツ活動推進という役割を大きく越えて、NPO法人鹿嶋市スポーツ協会やNPO法人かしまスポーツクラブなどのスポーツ団体、各競技団体、そして地域と学校が連携した新しい部活動の形を構築するとともに、学校体育と地域・社会体育の連携についても併せて協議していく必要があります。

## (8) 施設の在り方

スポーツの価値が高まるなか、その基盤である全国の公共スポーツ施設については、施設の老朽化や財政負担、人口減少等により安全な施設の提供が困難になり、スポーツ施設の量の再検討や広域的配置が求められることも想定される状況にあります。

スポーツ施設の老朽化が進むなかで、スポーツ施設を所有する自治体が人口減少と財政状況の厳しさに対応していかなければならないことから、施設数の減少そのものを食い止めることは難しく、本市としても現在ある施設を長寿命化し、最大限活用するとともに、スポーツ施設以外の場で、スポーツが楽しめる場所等の確保を進める必要があります。

## (9) 財政

本市の現時点での財政事情としては、歳入面では新型コロナウイルス感染症による市税収入への影響が懸念される状況が続いており、今後予定されている市内企業の事業縮小など、多方面での影響を想定し現段階から対応を進めていく必要があります。

一方、歳出面では、少子高齢社会の進行、医療費等の公費負担、子育て支援施策、ICT 機器等の維持管理・更新、公共施設の老朽化に伴う維持管理・老朽化対策等による歳出増が見込まれます。

これらに対応し、持続可能な財政運営としていくためには、限られた財源の効果的・効率的な活用は言うまでもなく、新たな財源の確保や、より一層の産業振興等にも取り組んでいく必要があります。

—参考—

### ★鹿嶋市財政力指数

0.99 (H30～R2) 基準財政収入額/基準財政需要額

※財政力を示す指数(過去3年度間の平均)であり、1に近くあるいは1を超えるほど余裕があるものとされます。

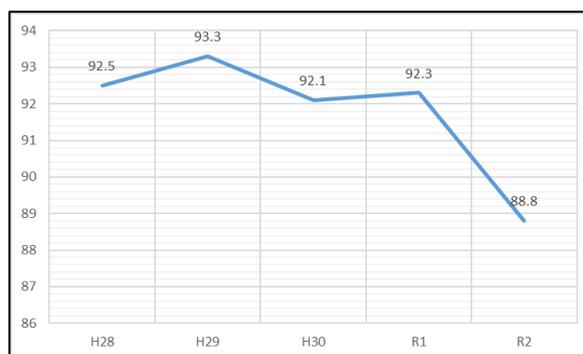
### ★鹿嶋市経常収支比率の推移

(経常経費充当一般財源/経常一般財源総額) × 100

※財政構造の弾力性を図る比率であり、

都市は75%程度が適当とされ、5%を超えると弾力性を失いつつあると考えられます。

(単位:%)





## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 10年後の将来像

## Colorful Stage KASHIMA through Sports

### ～スポーツで彩る健康で豊かなライフステージ～

スポーツ基本法の前文において、「スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠」であると規定されています。

本計画策定においては、この指針を踏まえ、市民だけでなく本市に関わる誰もが、地域の特性や様々な地域資源を活かしながら、それぞれのライフステージや価値観に合ったスポーツの楽しみ方を見つけること。また、スポーツが充実した生活の一部として定着し、生涯を通じて健康で生き生きと暮らすこと。さらに、スポーツを通じて地域コミュニティの活性化と交流の推進が図れることを、10年後の理想の将来像「Colorful Stage KASHIMA through Sports～スポーツで彩る健康で豊かなライフステージ～」とします。

この考え方を基本として、上位計画である第四次鹿嶋市総合計画（基本構想 25 年：2022 年度～2046 年度）において目指す「まち」の将来像「Colorful Stage KASHIMA～ひとあざやかに、ひとつのまちに～」の実現に向けて、各施策に取り組んでいきます。

#### 本計画におけるスポーツの定義

スポーツ基本法の前文において、スポーツとは「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と規定されています。

本計画ではこの指針を踏まえ、一定のルールに基づいて勝敗や記録を競うものだけでなく、体力づくり、健康維持・増進のために行う軽い運動や、趣味や交流のため気軽に身体を動かすこと、散歩やラジオ体操、サイクリング、レクリエーション活動をはじめ、運動不足解消のために日常の生活や仕事・家事の合間の簡単な運動も「スポーツ」の定義に含め、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に親しんでいただける生涯スポーツを推進していきます。

近年では、デジタル技術を活用し大きな身体活動を伴わない e スポーツ等の競技も「スポーツ」として捉える動きがありますが、現時点では具体的施策として展開することが難しいことから、本計画における「スポーツ」としては取り扱いません。

## 2 基本目標

市民だけでなく本市に関わる誰もが、それぞれのライフステージと価値観に合わせてスポーツを楽しむとともに、生活習慣改善と心身の健康づくりを推進することで健康寿命を伸ばし、鹿嶋市で過ごす時間が彩り豊かなものとなるよう、3つの基本目標を位置づけます。



## 3 成果指標

計画の着実な進行管理を行うため、成果指標を次のとおりとします。

基本 目標	指標名	実績			目標値 (R8)	備考	
		R 1	R 2	R 3			
1	成人のスポーツ実施率★	—	66%※	—	65%	週1回以上	
	新体力テスト (A～B)の 割合	小5男子	50.7	—	40.9%	60%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で新体力テスト実施せず
		小5女子	65.2	—	53.4%	66%	
		中2男子	50.0	—	40.0%	60%	
		中2女子	81.0	—	71.6%	82%	
市立スポーツ 施設	利用者数	269,660人	203,895人	150,000人	400,000人	令和3年度実績は見込み数	
	満足度★	—	—	—	70%	新規項目	
2	かしまスポーツクラブ 会員数	1,356人	941人	1,070人	1,500人	令和3年度は12月末時点	
	学校スポーツ開放登録者数	2,418人	2,447人	1,747人	2,500人	令和3年度は12月末時点	
	市民向け体力テスト参加者数	—	—	3/21 予定	500人	H30: 262人, H29: 265人, H28: 410人	
3	パラスポーツ体験実施後の競技関心度向上(小中学生)	—	83% (339/407人)	—	90%	令和3年度までスポーツ庁のオリパラ教育推進事業委託	
	外国人の市立スポーツ施設利用者数★	—	—	—	2,000人	新規項目 市内在住 966人 (令和3年12月)	

★：調査不定期または未実施事項のため、令和4年度より毎年実施していきます。

※：参考値扱いとします(スポーツ施設利用者や公民館来場者が調査の主な対象のため)



## 第4章 基本目標に基づく取組と方針

### 1 クロス SWOT 分析による戦略化アプローチ

全国の自治体の多くが市町村合併, 税源委譲, 地方交付税交付金・補助金の削減などの「経営課題」に直面しているなかで, 他自治体との差異化を図っていることから, 自治体のもつ強みや機会を活かし, 弱みや脅威を克服する視点で, 本市としても差異化を図り, 各種計画を策定することが肝要となります。

クロス SWOT 分析は, SWOT 分析で抽出した「外部環境 (機会/脅威)」と「内部環境 (強み/弱み)」の具体的事項同士 (強化すべき強みの項目と克服すべき弱みの項目) を結びつけ, 目標に向けた戦略を導き出すフレームワークです。

本計画ではこの手法により現状の課題の整理と並行し, 各要因の因果関係と具体的事項 (エビデンス) を考察したうえで, 将来あるべき (理想とする) 姿を実現するための戦略的な取組の取捨選択, 優先順位を決定します。

—参考：クロス SWOT 分析について—

#### ★戦略の相関

		外部環境	
		Opportunities (機会)	Threats (脅威)
内部環境	Strength (強み)	<b>積極的攻勢・展開</b> <u>S (強み) × O (機会)</u> 市のもつ「強み」を取り込み, 積極的にチャンス (機会) に活かす	<b>差異化戦略</b> <u>S (強み) × T (脅威)</u> 市のもつ「強み」を活かし, 脅威を避ける
	Weaknesses (弱み)	<b>段階的施策・改善</b> <u>W (弱み) × O (機会)</u> 欠点を補填 (弱点強化) するための機会を創出し, 段階的に改善する	<b>問題事態回避</b> <u>W (弱み) × T (脅威)</u> 最悪の事態を想定し, 脅威に対する影響を最小限にする

## 2 基本目標の分類

クロス SWOT 分析を反映し、以下のとおりとします。

基本目標	取組
<p>1 スポーツを楽しめる持続可能な環境づくり</p>	<p><b>★①積極的攻勢・展開【S（強み）×O（機会）】</b></p> <p><b>I 市民スポーツ各団体の活動支援，団体育成</b></p> <p>S8 グラウンドゴルフが盛んである</p> <p>S13 スポーツ組織や団体(スポーツ協会・KSC・スポーツ少年団・サッカー・柔剣道等)がしっかりしており，それぞれが大会やイベントを開催できる力量を持っている</p> <p>S14 スポーツ協会や KSC で市民対象の教室やイベントを実施</p> <p>S16 公民館を核とした地域コミュニティが形成されている</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O10 少人数・幅広い年代で行えるレクリエーション要素の強いニュースポーツの拡充</p> <p><b>II 働く世代の健康づくりサポート</b></p> <p>S11 ウォーキングコース（神の道等）があり坂も多い</p> <p>S18 成人のスポーツ実施率が高い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O3 健康意識の高まり（特に個人でできるランニングやウォーク）</p> <p>O5 ライフスタイルの多様化</p> <p><b>III 「みる」スポーツ機会の提供</b></p> <p>S1 都市，空港からのアクセスの良さ</p> <p>S2 プロサッカーチームの存在（J1 トップチームでサッカーの街としての認知度向上</p> <p>S3 サッカー施設の充実と温水プールの有効活用</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O1 オリンピック，国体を開催した実績とレガシー</p> <p>O11 カシマのブランドを利用した大会の誘致（国際大会含む）</p> <p>O12 プロチーム，企業等と連携したスポーツ活動やスポーツイベントの連携と充実</p> <p>O15 多様性の理解促進と浸透</p>

基本目標	取組
1 スポーツを楽しめる持続可能な環境づくり	<p><b>★②差異化戦略【S（強み）×T（脅威）】</b></p> <p><b>I 指導者の育成と確保</b></p> <p>S13 スポーツ組織や団体(スポーツ協会・KSC・スポーツ少年団・サッカー・柔剣道等)がしっかりしており,それぞれが大会やイベントを開催できる力量を持っている</p> <p>S15 スポーツ指導者が複数いる</p> <p>S18 成人のスポーツ実施率が高い</p> <p style="text-align: center;">✕</p> <p>T6 スポーツ少年団等加入者減少⇒将来の指導者減少</p> <p>T7 指導者の質の確保（指導者の育成や待遇・雇用条件等）</p> <p>T8 スポーツ指導者の高齢化と次世代への引継ぎ</p> <p><b>II 市民参加型スポーツイベントの充実</b></p> <p>S13 スポーツ組織や団体(スポーツ協会・KSC・スポーツ少年団・サッカー・柔剣道等)がしっかりしており,それぞれが大会やイベントを開催できる力量を持っている</p> <p>S14 スポーツ協会や KSC で市民対象の教室やイベントを実施</p> <p>S17 市民や事業所, 企業がスポーツへの理解がある</p> <p>S18 成人のスポーツ実施率が高い</p> <p style="text-align: center;">✕</p> <p>T9 子どものスポーツ離れ（運動に対する興味低下）</p> <p>T13 女性のスポーツ離れ（特に子育て世代）</p> <p>T14 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツを通した（外部との）交流が薄れ, スポーツに関わる人々が減少する</p>
	<p><b>★③段階的施策・改善【W（弱み）×O（機会）】</b></p> <p><b>I スポーツ施設の電子予約申請等の整備</b></p> <p>W3 電子申請手続き等に未対応</p> <p style="text-align: center;">✕</p> <p>O16 スマートシティへの移行</p>

基本目標	取組
<p>1 スポーツを楽しめる持続可能な環境づくり</p>	<p><b>II 高齢者のスポーツ活動推進</b></p> <p>W5 競技団体内での大会は多いが、一般市民を対象としたスポーツイベントが少ない</p> <p>W6 「サッカーばかりに力を入れている」という意見が多い。他のアマチュアスポーツの普及</p> <p>W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく、公園等に健康器具や遊具が少ない(誰でも・いつでも・遊びもできる場所)</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O4 健康寿命の意識の高まり</p> <p>O7 市民向けスポーツイベントで世代間・地域交流による地域活性化</p> <p>O9 退職後の社会活動の場の充実</p>
	<p><b>★④問題事態回避【W(弱み)×T(脅威)】</b></p> <p><b>I スポーツ関連施設等の有効活用</b></p> <p>W1 産業構造の変化の過渡期</p> <p>W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく、公園等に健康器具や遊具が少ない(誰でも・いつでも・遊びもできる場所)</p> <p>W11 サッカーのホームゲームの日にスポーツセンター、ト伝の郷運動公園多目的球技場が使用できない。また休日はイベント等でスポーツ施設の個人利用が難しい</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T1 人口の減少(競技人口, 指導者確保)</p> <p>T2 気候変動による自然災害の多発</p> <p>T15 更なる税収減等による厳しい財政状況</p> <p>T16 公共スポーツ施設の老朽化</p> <p style="text-align: right;">▶</p> <p>ト伝の郷運動公園多目的球技場</p> 

基本目標	取組
<p>1 スポーツを楽しめる持続可能な環境づくり</p>	<p><b>II スポーツ情報発信の充実</b></p> <p>W2 プロモーション，情報発信の不足  W7 スポーツを始めたい人へのサポートが弱い  W9 各競技団体同士，また市との連携が弱い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T9 子どものスポーツ離れ（運動に対する興味低下）  T13 女性のスポーツ離れ（特に子育て世代）  T14 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツを通じた（外部との）交流が薄れ，スポーツに関わる人々が減少する  T18 茨城県の認知度が全国で最低＝鹿嶋市の認知度も低下</p> <p><b>III 子どものスポーツ機会の充実と習慣づくり</b></p> <p>W4 学校開放やスポーツ少年団に登録外の活動団体の集約化ができていない  W6 「サッカーばかりに力を入れている」という意見が多い。他のアマチュアスポーツの普及  W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく，公園等に健康器具や遊具が少ない(誰でも・いつでも・遊びもできる場所)  W9 各競技団体同士，また市との連携が弱い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T1 人口の減少(競技人口，指導者確保)  T6 スポーツ少年団等加入者減少⇒将来の指導者減少  T9 子どものスポーツ離れ（運動に対する興味低下）  T10 子どもの体力低下  T11 教育費の負担増  T12 不登校，引きこもりの増加</p> <p><b>IV 競技者の支援</b></p> <p>W6 「サッカーばかりに力を入れている」という意見が多い。他のアマチュアスポーツの普及</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T1 人口の減少(競技人口，指導者確保)  T19 企業のスポーツ離れ</p>

基本目標	取組
2 スポーツを通じた地域活性化	<p style="color: red;">★①積極的攻勢・展開【S（強み）×O（機会）】</p> <p><b>I アントラーズホームタウン DMO 等各関係機関との連携</b></p> <p>S1 都市，空港からのアクセスの良さ  S2 プロサッカーチームの存在（J1 トップチームでサッカーの街としての認知度向上）  S3 サッカー施設の充実と温水プールの有効活用  S5 降雪量が少なく年間を通して温暖な気候  S7 海，湖，川等がありビーチ，ウォータースポーツも可能  S10 ゴルフ場がある</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O1 オリンピック，国体を開催した実績とレガシー  O2 英語教育の浸透と更なる推進  O3 健康意識の高まり（特に個人でできるランニングやウォーク）  O6 アウトドアスポーツ，ビーチスポーツの需要の高まり  O13 インバウンドによる外国人訪問者の増加</p> <p><b>II スポーツ大会の開催</b></p> <p>S1 都市，空港からのアクセスの良さ  S3 サッカー施設の充実と温水プールの有効活用  S4 サッカーフェスティバルのような全国規模のイベントや DMO の働きかけがあり，全国からチームを呼べる環境にある  S5 降雪量が少なく年間を通して温暖な気候  S7 海，湖，川等がありビーチ，ウォータースポーツも可能  S8 グラウンドゴルフが盛んである  S9 ボウリング場がある  S10 ゴルフ場がある  S17 市民や事業所，企業がスポーツへの理解がある</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O1 オリンピック，国体を開催した実績とレガシー  O6 アウトドアスポーツ，ビーチスポーツの需要の高まり  O11 カシマのブランドを利用した大会の誘致（国際大会含む）  O12 プロチーム，企業等と連携したスポーツ活動やスポーツイベントの連携と充実</p>

基本目標	取組
<p>2 スポーツを通じた地域活性化</p>	<p><b>Ⅲ 総合型地域スポーツクラブ活動の充実</b></p> <p>S13 スポーツ組織や団体(スポーツ協会・KSC・スポーツ少年団・サッカー・柔剣道等)がしっかりしており,それぞれが大会やイベントを開催できる力量を持っている</p> <p>S14 スポーツ協会や KSC で市民対象の教室やイベントを実施</p> <p>S15 スポーツ指導者が複数いる</p> <p>S18 成人のスポーツ実施率が高い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O3 健康意識の高まり(特に個人でできるランニングやウォーク)</p> <p>O4 健康寿命の意識の高まり</p> <p>O7 市民向けスポーツイベントで世代間・地域交流による地域活性化</p> <p>O9 退職後の社会活動の場の充実</p> <p>O10 少人数・幅広い年代で行えるレクリエーション要素の強いニュースポーツの拡充</p> <p><b>Ⅳ 地域部活動への移行</b></p> <p>S13 スポーツ組織や団体(スポーツ協会・KSC・スポーツ少年団・サッカー・柔剣道等)がしっかりしており,それぞれが大会やイベントを開催できる力量を持っている</p> <p>S14 スポーツ協会や KSC で市民対象の教室やイベントを実施</p> <p>S15 スポーツ指導者が複数いる</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O8 中学校部活動への民間団体や市民の関心の高まり</p> <p>O9 退職後の社会活動の場の充実</p>

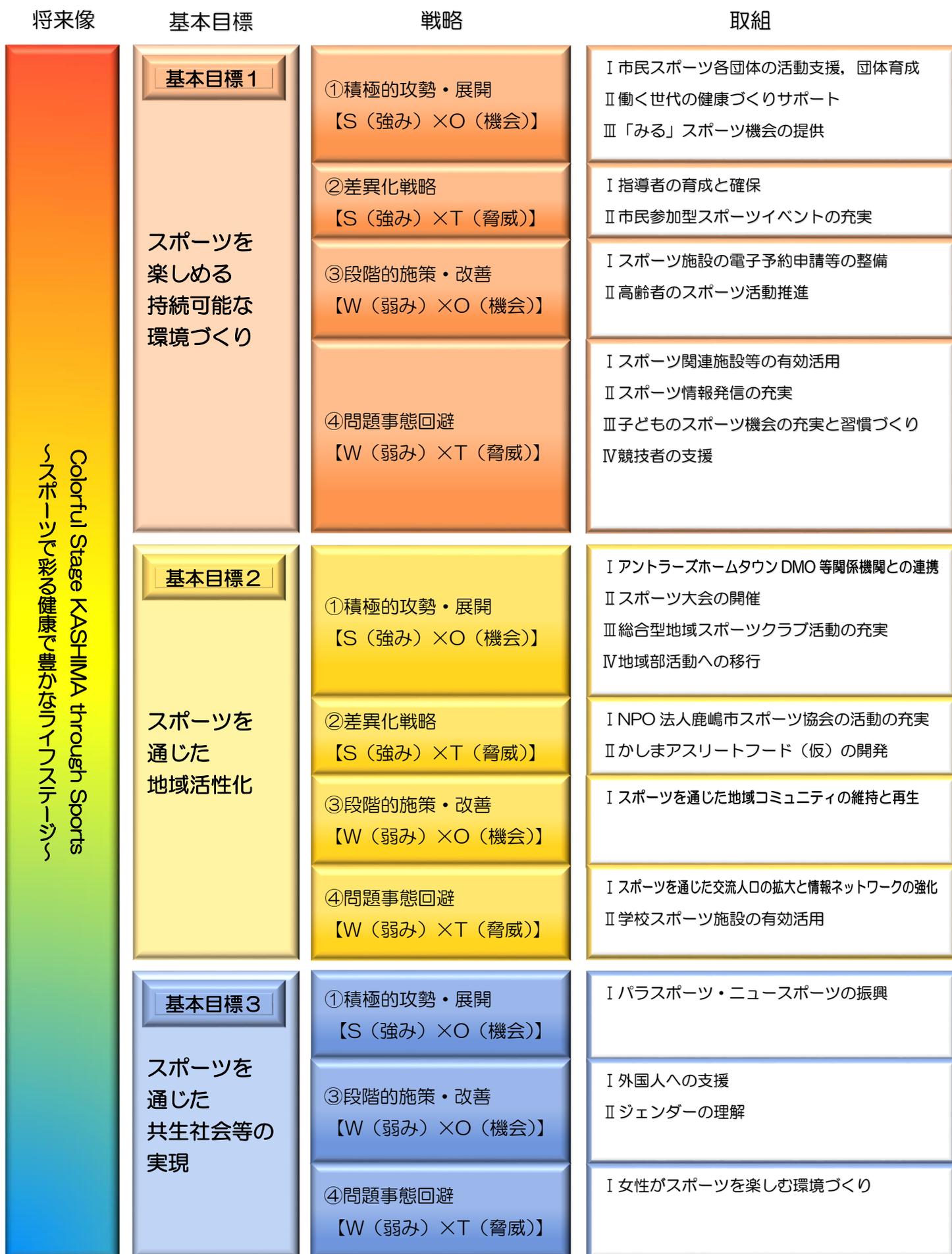
基本目標	取組
<p>2 スポーツを通じた地域活性化</p>	<p><b>★②差異化戦略【S（強み）×T（脅威）】</b></p> <p><b>I NPO 法人鹿嶋市スポーツ協会の活動の充実</b></p> <p>S14 スポーツ協会やKSCで市民対象の教室やイベントを実施  S15 スポーツ指導者が複数いる  S18 成人のスポーツ実施率が高い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T7 指導者の質の確保（指導者の育成や待遇・雇用条件等）  T8 スポーツ指導者の高齢化と次世代への引継ぎ  T9 子どものスポーツ離れ（運動に対する興味低下）  T13 女性のスポーツ離れ（特に子育て世代）  T14 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツを通じた（外部との）交流が薄れ、スポーツに関わる人々が減少する</p> <p><b>II かしまアスリートフード（仮）の開発</b></p> <p>S6 農業、漁業があり地場地産食材がある</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T5 医療体制の不安  T18 茨城県の認知度が全国で最低＝鹿嶋市の認知度も低下</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="margin-top: 20px;">▲▶</p> <p>左上：鹿島たこ  右上：汐菜キャベツ  右：鹿島灘はまぐり</p> 

基本目標	取組
2 スポーツを通じた地域活性化	<p><b>★③段階的施策・改善【W（弱み）×O（機会）】</b></p> <p><b>I スポーツを通じた地域コミュニティの維持と再生</b></p> <p>W5 競技団体内での大会は多いが、一般市民を対象としたスポーツイベントが少ない</p> <p>W7 スポーツを始めたい人へのサポートが弱い</p> <p>W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく、公園等に健康器具や遊具が少ない(誰でも・いつでも・遊びもできる場所)</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O3 健康意識の高まり(特に個人でできるランニングやウォーク)</p> <p>O4 健康寿命の意識の高まり</p> <p>O5 ライフスタイルの多様化</p> <p>O7 市民向けスポーツイベントで世代間・地域交流による地域活性化</p> <p>O10 少人数・幅広い年代で行えるレクリエーション要素の強いニュースポーツの拡充</p> <p>O14 テレワーク浸透による地方移住者の増加</p>
	<p><b>★④問題事態回避【W（弱み）×T（脅威）】</b></p> <p><b>I スポーツを通じた交流人口の拡大と情報ネットワークの強化</b></p> <p>W5 競技団体内での大会は多いが、一般市民を対象としたスポーツイベントが少ない</p> <p>W6 「サッカーばかりに力を入れている」という意見が多い。他のアマチュアスポーツの普及</p> <p>W9 各競技団体同士、また市との連携が弱い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T1 人口の減少(競技人口、指導者確保)</p> <p>T3 超高齢社会による QOL (クオリティ・オブ・ライフ) の低下</p> <p>T4 自治会加入率減少による地域コミュニティの希薄化</p> <p>T5 医療体制の不安</p> <p>T12 不登校、引きこもりの増加</p> <p>T17 公共交通機関の衰退</p>

基本目標	取組
<p>2 スポーツを通じた地域活性化</p>	<p><b>II 学校スポーツ施設の有効活用</b></p> <p>W4 学校開放やスポーツ少年団に登録外の活動団体の集約化ができていない</p> <p>W7 スポーツを始めたい人へのサポートが弱い</p> <p>W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく、公園等に健康器具や遊具が少ない(誰でも・いつでも・遊びもできる場所)</p> <p>W9 各競技団体同士、また市との連携が弱い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T1 人口の減少(競技人口、指導者確保)</p> <p>T9 子どものスポーツ離れ(運動に対する興味低下)</p> <p>T13 女性のスポーツ離れ(特に子育て世代)</p> <p>T14 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツを通じた(外部との)交流が薄れ、スポーツに関わる人々が減少する</p>
<p>3 スポーツを通じた共生社会等の実現</p>	<p><b>★①積極的攻勢・展開【S(強み)×O(機会)】</b></p> <p><b>I パラスポーツ・ニュースポーツの振興</b></p> <p>S12 パラスポーツの普及(ボッチャ等)</p> <p>S15 スポーツ指導者が複数いる</p> <p>S16 公民館を核とした地域コミュニティが形成されている</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O1 オリンピック、国体を開催した実績とレガシー</p> <p>O15 多様性の理解促進と浸透</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="margin-right: 10px;">▶</div> <div style="text-align: center;"> <p>鹿嶋市まちづくり出前講座 ボッチャ体験教室</p> </div> <div style="margin-left: 10px;">  </div> </div>

基本目標	取組
3 スポーツを通じた共生社会等の実現	<p><b>★③段階的施策・改善【W（弱み）×O（機会）】</b></p> <p><b><u>I 外国人への支援</u></b></p> <p>W2 プロモーション，情報発信の不足</p> <p>W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく，公園等に健康器具や遊具が少ない(誰でも・いつでも・遊びもできる場所)</p> <p>W10 社会的マイノリティの方への配慮不足</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O1 オリンピック，国体を開催した実績とレガシー</p> <p>O2 英語教育の浸透と更なる推進</p> <p>O13 インバウンドによる外国人訪問者の増加</p> <p>O16 スマートシティへの移行</p> <p><b><u>II ジェンダーの理解</u></b></p> <p>W2 プロモーション，情報発信の不足</p> <p>W8 継続的にスポーツをできる場所が少なく，公園等に健康器具や遊具が少ない(誰でも・いつでも・遊びもできる場所)</p> <p>W10 社会的マイノリティの方への配慮不足</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>O5 ライフスタイルの多様化</p> <p>O15 多様性の理解促進と浸透</p>
	<p><b>★④問題事態回避【W（弱み）×T（脅威）】</b></p> <p><b><u>I 女性がスポーツを楽しむ環境づくり</u></b></p> <p>W2 プロモーション，情報発信の不足</p> <p>W7 スポーツを始めたい人へのサポートが弱い</p> <p style="text-align: center;">✖</p> <p>T7 指導者の質の確保（指導者の育成や待遇・雇用条件等）</p> <p>T13 女性のスポーツ離れ（特に子育て世代）</p>

### 3 計画の体系図



## 4 方針

### (1) スポーツを楽しめる持続可能な環境づくり

それぞれのライフステージに応じ、スポーツを楽しむことができる環境を整え、生涯スポーツの推進とスポーツを通じた健康づくりを推進していきます。

#### 【具体的な取組：①積極的姿勢】

##### I 市民スポーツ各団体の活動支援，団体育成

方針	概要
環境と組織強化の支援	鹿嶋市スポーツ振興事業補助金の交付により，NPO 法人鹿嶋市スポーツ協会に所属する各競技連盟やスポーツ少年団など，市内のスポーツ関連団体の中核団体として活動する団体を支援します。

#### ★令和3年度 鹿嶋市スポーツ協会加盟団体

(単位：団体数=団体，会員数=人)

団体名	団体数	会員数	設立年月日
鹿嶋市軟式野球連盟	25	700	S56.3.1
鹿嶋テニス連盟	13	182	S53.4.21
鹿嶋市ソフトテニス連盟	3	50	S60.5.10
鹿嶋市ママさんバレーボール連盟	4	60	S47.4.1
鹿嶋市ソフトボール連盟	16	300	S53.4.21
鹿嶋市弓道連盟	1	20	S53.4.1
鹿嶋市卓球連盟	4	95	S53.4.1
鹿嶋市剣道連盟	1	63	S60.4.1
鹿嶋市柔道連盟	8	115	S50.12.1
鹿嶋市少林寺拳法協会	4	100	S57.4.1
鹿島スキークラブ	1	20	S55.12.21
鹿嶋市バドミントン協会	45	500	S58.10.1
鹿嶋市ゴルフ連盟	1	100	H11.4.1
鹿嶋市ゲートボール協会	4	30	S62.1.10
鹿嶋市レクリエーション協会	45	350	H4.4.28
鹿嶋市サッカー協会	6	150	H6.6.3
鹿嶋ダンススポーツクラブ	1	14	H7.10.6
鹿嶋市グラウンド・ゴルフ協会	45	424	H18.4.14
計	227	3273	

## II 働く世代の健康づくりサポート

方針	概要
運動習慣づくりの推進	<p>本市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、令和2年度で66%でしたが、その内訳をみると60歳以上が全体の47.38%と約半数の割合を占めるのに対し、30歳～59歳の働く世代の全体の割合は37.69%と低迷しているほか、20歳～29歳の比較的若い年代の割合が4.10%と最も低迷しているのが特徴です。</p> <p>多くの病気は運動不足と関連しているとされ、特に心筋梗塞や狭心症に代表される虚血性心疾患や脳梗塞など、動脈硬化がもとなる病気と強い関連があります。</p> <p>運動はこれらの病気や、働く世代に多い生活習慣病を予防するだけでなく、ストレスを発散するなどの社会的・心理的な波及効果もあることから、それぞれのペースで無理なく楽しく取り組める運動習慣づくりを推進していきます。</p>

### ★鹿嶋市の成人の週1回以上のスポーツ実施者 世代別割合

※出典：令和2年度 鹿嶋市における運動・スポーツに関する調査 (単位：%)

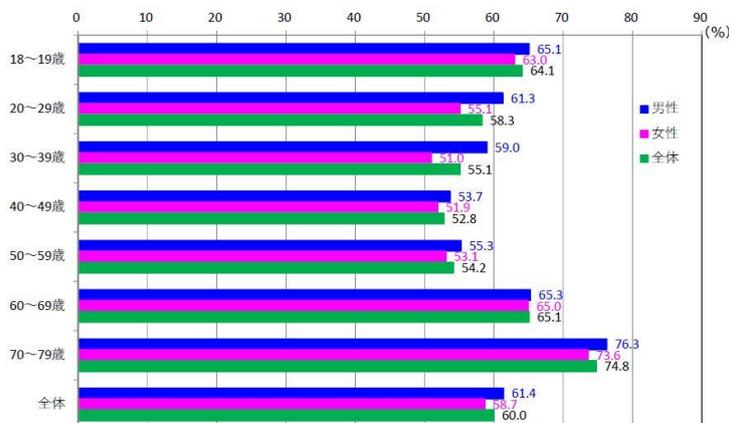
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	未回答
6.34%	4.1%	6.72%	16.79%	14.18%	23.13%	24.25%	4.48%

1	週に3日以上(年151日以上)	118	29%
2	週に1～2日(年51日～150日)	150	37%
3	月に1～3日(年12日～50日)	56	14%
4	3か月に1～2日(年4日～11日)	14	3%
5	年に1～3日	3	0.7%
6	実施していない	6	1.5%
7	未回答	59	15%

268人(66%)の世代別割合

### ★世代別週1日以上スポーツ実施率の比較

※出典：令和2年度スポーツの実施状況等に関する世論調査(スポーツ庁) 結果の概要



### III 「みる」スポーツ機会の提供

方針	概要
鹿島アントラーズ FC との連携	<p>スポーツ庁は「する・みる・ささえる」といった多様なスポーツライフを通じて、スポーツ参画人口の拡大を目指しています。</p> <p>本市では、鹿島アントラーズ FC のホームタウンである地域性を生かし、プロスポーツ選手を実際に自分の目で見ることや、仲間との思い出や連帯感により、今後の魅力あるまちづくりに参画できる人材育成を図るとともに、子どもたちにとって魅力あるまちづくりを行うことを目的に、市を挙げて鹿島アントラーズ FC の全校応援を行ってきました。オリンピック開催や新型コロナウイルス感染症の影響により、近年は未実施となっていますが、鹿島アントラーズ FC と協議し、「みる」スポーツの機会提供を推進していきます。</p>
アントラーズ ホームタウン キッズパスの周知と活用	<p>市内在学の小学生の場合、「アントラーズホームタウンキッズパス」を申請することで、カシマサッカースタジアムでの試合を無料で観戦できることから、市内の小学校を通じて積極的に活用するよう周知していきます。</p>
プロチーム・ナショナルチーム等の誘致	<p>関係団体と連携し、これまで誘致実績のあるフットサル日本代表やアンダー世代のサッカー日本代表だけでなく、様々な競技のプロチーム・ナショナルチーム等のトレーニングキャンプや大会等を誘致し、市民にも一般公開できるよう協議・調整していきます。</p>



▲ネットボール・アジア・ユース大会

★アントラーズ全校応援事業の実績

平成 28 年度 小学生 3,462 人対象

平成 29 年度 特別招待券配付（児童または生徒 1 人につき保護者 2 人観戦可能）

平成 30 年度 小学生 3,480 人対象

令和元年度 中学生 1,964 人対象

★アントラーズホームタウンキッズバス配付数実績

平成 27 年度 小学生 4,149 人

平成 28 年度 小学生 4,137 人

平成 29 年度 小学生 4,009 人

平成 30 年度 小学生 4,020 人

令和元年度 小学生 4,021 人

※すべての年度で翌年度 4 月入学予定者数を含む



▲アントラーズ全校応援事業

【具体的な取組：②差異化戦略】

I 指導者の育成と確保

方針	概要
スポーツ推進委員の活動の充実	<p>スポーツ推進委員としての職務である、スポーツの実技指導やスポーツに関する指導等の活動を充実させるため、その資質の向上を目的とした研修会の開催や派遣を積極的に支援します。</p> <p>令和3年度実施内容：ボッチャ、スポーツ鬼ごっこ実技研修</p>
指導者養成講習会の実施	<p>「いつでも・どこでも・誰もが」スポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現に向けて、豊かな指導技術と運営能力を持つコーディネーターを養成するための専門講座を開設します。</p> <p>令和3年度実施内容： 少年期のスポーツ指導法（講義）、食事と運動と健康（講義）、心肺蘇生とAED（実技）、怪我の予防とケア（キネオプの実技）等</p>
スポーツ少年団指導者協議会の充実	<p>スポーツ少年団登録指導者の市内における相互の連帯を深めるとともに、さらなる資質・指導力の向上を図るために、指導者のニーズに応じた講演や実習など指導活動の促進方法等についての研修会を開催します。</p> <p>令和3年度実施内容： 鹿島アントラーズジュニアユーストレーナーによる「怪我をしない少年期の体づくり等（ストレッチ等実演込み）」</p>



▲指導者養成講習会（かしまスポーツカレッジ） 心肺蘇生とAED実技の様子

## II 市民参加型スポーツイベントの充実

方針	概要
スポーツ体験の機会提供	<p>子どもからお年寄りまで幅広い年代層の人々が軽スポーツやニュースポーツ（ボッチャ、輪投げ、ラダーゲッター、ディスクゲッター等）を通じて、スポーツの楽しさや健康についての意識を高め、スポーツの生活化を図ることを目的に、スポーツイベント（エンジョイスポーツ）の充実を図ります。</p> <p>また、鹿嶋まつり（スポーツチャレンジ）などの人が集う機会にスポーツ体験の機会提供を推進していきます。</p>
スポーツ教室、イベントの開催	<p>市民一人ひとりが、それぞれのライフステージに応じて自分に合った運動・スポーツを見つける機会として、またスポーツの素晴らしさや楽しさを知る機会として、スポーツ関連団体と連携し、スポーツ教室・イベント・体験教室等の開催を充実させます。</p>
新規スポーツイベントの考察	<p>本市の豊かな自然を生かしたスポーツイベント（ウォーキング、サイクリング等）の企画について関係機関や関係団体と協議し、市民の体力と健康づくりを振興するとともに、市外からも参加者を迎え、「する・みる・ささえる」スポーツを通して、個人の運動やスポーツへの主体的な取組の推進を図ります。</p>



▶  
ディスクゲッター

### 【具体的な取組：③段階的施策・改善】

#### I スポーツ施設の電子予約申請等の整備

方針	概要
電子予約申請等の環境整備	<p>市立スポーツ施設の指定管理者と段階的に電子予約申請等の環境整備について協議していきます。</p> <p>また、これまで紙媒体で申請していた運動施設使用料（利用料金）減免申請書や運動施設使用許可書等についても、電子申請が利用できるよう市関係部署と連携し協議します。</p>

## II 高齢者のスポーツ活動推進

方針	概要
健康づくりスポーツプログラムの推進	<p>本市の 65 歳以上人口は 21,287 人、人口比率は 31.75%（令和 3 年 12 月現在）であり、今後もその比率は増えていく見込みです。</p> <p>生涯にわたる健康の保持増進のためには、医療機関を受診し脳血管疾患・心疾患・腎不全等の発症を予防し、重症化を防ぐことが重要であるとともに、健康に自立して生活できる「健康寿命」を延ばす試みも重要となります。</p> <p>スポーツによる健康づくりは、病気や怪我を防ぎ健康維持のためには欠かせません。高齢者が気軽に参加できる各種スポーツ教室の充実を図っていきます。</p> <p>令和 3 年度実施内容：スクエアステップ教室、水中教室等</p>
全国健康福祉祭出場者への支援	<p>高齢者のスポーツ・文化の祭典である全国健康福祉祭（ねんりんピック）に出場する選手を支援し、健康保持と増進、社会参加、生きがいの高揚を推進します。</p>

### 【具体的な取組：④問題実態回避】

#### I スポーツ関連施設等の有効活用

方針	概要
計画的な施設の保全と利活用	<p>スポーツ施設の現状や利用状況を踏まえた整備を図るとともに、市民が安全かつ持続的に利用できるよう、鹿嶋市公共施設等総合管理計画等に基づき、予防保全型の計画的な設備の点検、更新を行うなど、施設の適切な維持管理を行います。</p>
施設の指定管理	<p>指定管理者の企画や運営により、スポーツ施設の稼働率の向上や経費の縮減だけでなく、自主事業やスポーツイベントの充実により、利用者満足度の向上と地域の活性化を図っていきます。</p>
レクリエーションでの有効活用	<p>競技人口の減少や競技団体の解散等により、スポーツ施設の稼働率の減少が課題となるなか、スポーツだけでなくレクリエーションの普及振興を図り、地域間交流の拠点として常に良好な状態で管理することに努めます。</p>
施設の適正配置等の検討	<p>競技人口の減少や施設の老朽化が危惧されるなかで、安全なスポーツ施設を持続的に提供するため、市内の各種スポーツ施設に関する状況やスポーツに関するニーズなどを定期的に調査します。</p> <p>また、ストック適正化や PPP/PFI（※7）など民間の資金やノウハウの活用も含め、施設の配置や必要となる機能など、今後の方向性について検討します。</p>

【用語・略語について】

※7：Public Private Partnership 行政と民間が連携して「公共サービスの提供等」を効率的かつ効果的に行う手法

Private Finance Initiative 公共施設等の建設，維持管理，運営等を民間の資金，経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

★スポーツ施設別利用者数の推移

(単位：人)

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
カシマスポーツセンター	123,418	118,829	127,065	35,835	39,702
ト伝の郷運動公園 (多目的球技場)	114,663	36,521	100,365	92,508	76,571
大野第一球場	3,535	3,590	3,940	3,685	1,520
大野第二球場	2,132	2,897	4,699	5,019	閉鎖
はまなす公園球場	3,857	3,265	3,270	3,677	3,035
まちづくり市民センター (体育館・庭球場)	35,570	31,371	32,248	32,009	25,774
高松緑地 (温水プール)	44,838	40,913	35,634	30,170	13,491
高松緑地 (野球場・庭球場・多目的球技場)	38,975	33,684	25,457	31,552	22,703
北海浜多目的球技場	1,500	5,270	10,033	6,172	6,818
高松球場	5,760	5,580	5,398	3,975	180
いきいきゆめプール (令和元年度より利用開始)				25,058	14,101
合計	374,248	281,920	348,109	269,660	203,895



◀  
施設の有効活用例：  
高松球場での競技  
ドローン練習見学会  
(かしま子ども大学)

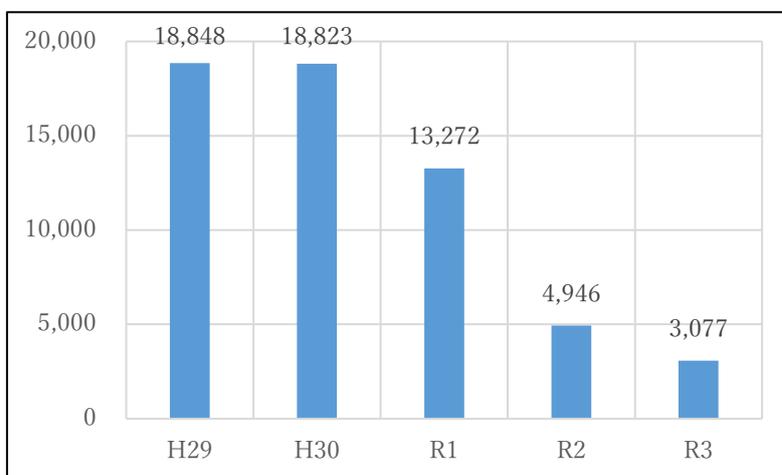
## II スポーツ情報発信の充実

方針	概要
かしま SPORTS NAVI の認知度向上	スポーツ専用サイト「かしま SPORTS NAVI」において、市内のスポーツイベントやスポーツ施設情報、スポーツ少年団の情報等を紹介していますが、令和2年度スポーツに関するアンケート調査では、かしま SPORTS NAVI を「見たことがない」と回答した方の割合が62%、(未回答を含むと79%)となっていることから、各競技団体と連携を図り、周知及び活用推進をしていきます。
SNS 等による情報発信	市公式の Twitter や Instagram などを積極的に活用し、スポーツ施設情報やスポーツイベントのリアル情報を発信することで、興味関心をひきつけます。また宿泊施設情報等も併せて発信することで、スポーツ機会の充実を図るだけでなく、スポーツツーリズムや合宿等、経済波及効果に結びつく働きかけを検討します。 時代の移り変わりにより、新しい SNS が次々に登場し、ユーザーの志向も変わることから、より多くの人に効果的に情報発信できるツールについても随時、検討していきます。
電子申請等の活用	大会やイベント参加申請のツールのひとつとして活用し、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境をつくりまします。
スポーツ関連団体による情報発信	NPO 法人鹿嶋市スポーツ協会、NPO 法人かしまスポーツクラブが独自の紙媒体により、大会案内や結果、イベント情報を発信していますが、今後は市民が容易に情報を入手できる環境や、情報の一元化について協議していきます。

### ★かしま SPORTS NAVI 閲覧件数の推移

※令和3年度は1月12日時点

(単位：件)



### III 子どものスポーツ機会の充実と習慣づくり

方針	概要
<p>体を動かすことに興味をもつきっかけづくり</p>	<p>幼児期に適切な運動をすることで、丈夫でバランスのとれた体を育みやすくなります。また運動習慣を身につけることで、生涯にわたる健康的で活動的な生活習慣の形成にも役立つことから、市関係部署と連携し、保護者へ啓発を行うほか、就学前の乳幼児が多く集う子育て支援センター等の施設において運動遊びや外遊びを奨励します。</p> <p>またスポーツ関連団体・市民団体と連携し、親子で体験できる運動プログラム（スポーツ鬼ごっこ等）の推進を図るなど、特定の競技に専念するのではなく、様々な競技・種目に触れる機会を提供し、生涯スポーツの底辺拡大と、スポーツや遊びに興味を持って体を動かす環境づくりに取り組みます。</p>
<p>新体力テストの実施と検証</p>	<p>文部科学省が平成11年度の体力・運動能力調査から導入した「新体力テスト」の実施により、子どもたちは現在の自分の体力・運動能力がどのくらいあるのが確認できるとともに、体力や運動に対する意識を深め、日頃からスポーツに親しむきっかけとなります。</p> <p>また種目別の結果【筋力（握力）、敏捷性（反復横とび）、跳躍力（立ち幅とび）、柔軟性（長座体前屈）、筋持久力（上体起こし）、全身持久力（20m シャトルラン）】を分析することにより、学校体育等や行政上の基礎資料として活用し、授業内容の充実・改善を図っていきます。</p>
<p>スポーツ少年団活動の充実</p>	<p>少子化だけでなくスポーツ種目や習い事の多様化等により、スポーツ少年団の登録団員数が減少していますが、地域を基盤としたスポーツの場を子どもたちに提供することで、スポーツを計画的、継続的に実践し、子どもたちの健全育成に努めます。</p> <p>また競技の枠を超えた単位団間の交流を深める機会を提供し、競技の枠を超えて交流することで、子どもたちのモチベーションを高め価値観を拓げるなど、団員の増加や定着につながる取組を行っていきます。</p>

▶  
スポーツ少年団駅伝大会



★新体力テスト学年別結果（令和元年度～令和3年度）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず

令和元年度小学生

（単位：人）

性別・学年		総合評価					合計	A+B	D+E	(A+B)-(D+E)
		A	B	C	D	E				
男子	1年	61	80	62	45	25	273	51.6%	25.6%	26.0%
	2年	68	89	79	47	19	302	52.0%	21.9%	30.1%
	3年	60	101	67	41	13	282	57.1%	19.1%	38.0%
	4年	77	103	71	49	19	319	56.4%	21.3%	35.1%
	5年	70	77	91	38	14	290	50.7%	17.9%	32.8%
	6年	73	78	70	35	20	276	54.7%	19.9%	34.8%
	小計	409	528	440	255	110	1,742	53.8%	21.0%	32.8%
女子	1年	55	76	76	37	20	264	49.6%	21.6%	28.0%
	2年	87	71	74	33	14	279	56.6%	16.8%	39.8%
	3年	75	76	79	26	8	264	57.2%	12.9%	44.3%
	4年	93	86	77	32	12	300	59.7%	14.7%	45.0%
	5年	101	88	67	26	8	290	65.2%	11.7%	53.5%
	6年	105	106	48	19	7	285	74.0%	9.1%	64.9%
	小計	516	503	421	173	69	1,682	60.6%	14.4%	46.2%
合計	925	1031	861	428	179	3,424	57.1%	17.7%	39.4%	
児童総数(5月1日現在)						3,439	実施率	99.6%		

令和3年度小学生

性別・学年		総合評価					合計	A+B	D+E	(A+B)-(D+E)
		A	B	C	D	E				
男子	1年	51	63	94	56	20	284	40.1%	26.8%	13.3%
	2年	42	54	89	54	26	265	36.2%	30.2%	6.0%
	3年	36	81	77	48	28	270	43.3%	28.1%	15.2%
	4年	46	83	70	50	41	290	44.5%	31.4%	13.1%
	5年	56	59	82	53	31	281	40.9%	29.9%	11.0%
	6年	42	96	79	63	29	309	44.7%	29.8%	14.9%
	小計	273	436	491	324	175	1,699	41.7%	29.4%	12.3%
女子	1年	49	81	93	40	23	286	45.5%	22.0%	23.5%
	2年	57	77	92	40	17	283	47.3%	20.1%	27.2%
	3年	62	82	64	36	16	260	55.4%	20.0%	35.4%
	4年	80	71	70	44	14	279	54.1%	20.8%	33.3%
	5年	70	70	80	32	10	262	53.4%	16.0%	37.4%
	6年	47	93	95	46	9	290	48.3%	19.0%	29.3%
	小計	365	474	494	238	89	1,660	50.5%	19.7%	30.8%
合計	638	910	985	562	264	3,359	46.1%	24.6%	21.5%	
児童総数(5月1日現在)						3,411	実施率	98.5%		

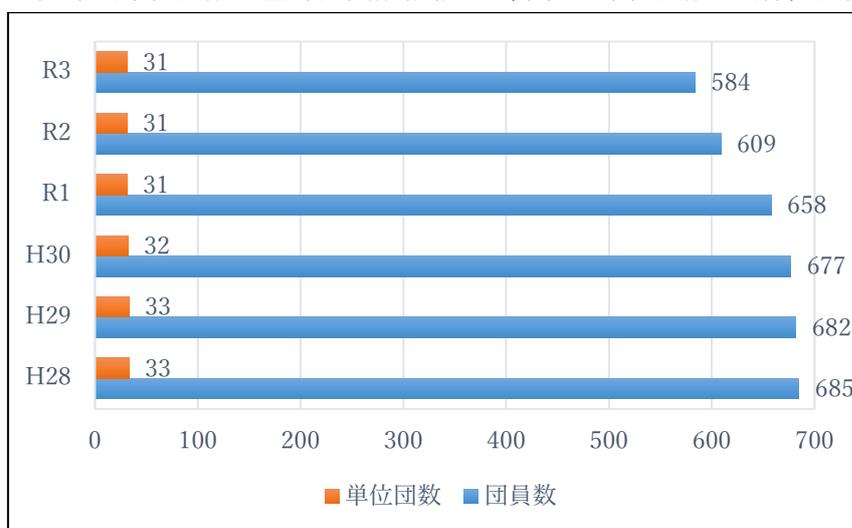
### 令和元年度中学生

性別・学年		総合評価					合計	A+B	D+E	(A+B)-(D+E)
		A	B	C	D	E				
男子	1年	27	62	79	47	15	230	38.7%	27.0%	11.7%
	2年	40	73	70	29	14	226	50.0%	19.0%	31.0%
	3年	91	87	43	26	6	253	70.4%	12.6%	57.8%
	小計	158	222	192	102	35	709	53.6%	19.3%	34.3%
女子	1年	137	75	34	7	0	253	83.8%	2.8%	81.0%
	2年	145	55	39	5	3	247	81.0%	3.2%	77.8%
	3年	112	59	39	8	5	223	76.7%	5.8%	70.9%
	小計	394	189	112	20	8	723	80.6%	3.9%	76.7%
合計		552	411	304	122	43	1,432	67.2%	11.5%	55.7%
児童総数(5月1日現在)						1,512	実施率		94.7%	

### 令和3年度中学生

性別・学年		総合評価					合計	A+B	D+E	(A+B)-(D+E)
		A	B	C	D	E				
男子	1年	19	57	79	58	22	235	32.3%	34.0%	-1.7%
	2年	26	58	64	46	16	210	40.0%	29.5%	10.5%
	3年	60	74	58	24	8	224	59.8%	14.3%	45.5%
	小計	105	189	201	128	46	669	43.9%	26.0%	17.9%
女子	1年	74	72	63	24	4	237	61.6%	11.8%	49.8%
	2年	89	62	42	15	3	211	71.6%	8.5%	63.1%
	3年	111	71	43	8	4	237	76.8%	5.1%	71.7%
	小計	274	205	148	47	11	685	69.9%	8.5%	61.4%
合計		379	394	349	175	57	1,354	57.1%	17.1%	40.0%
児童総数(5月1日現在)						1,505	実施率		90.0%	

### ★少年団単位団数・登録団員数推移 (単位：単位団数=団体, 団員数=人)



#### IV 競技者の支援

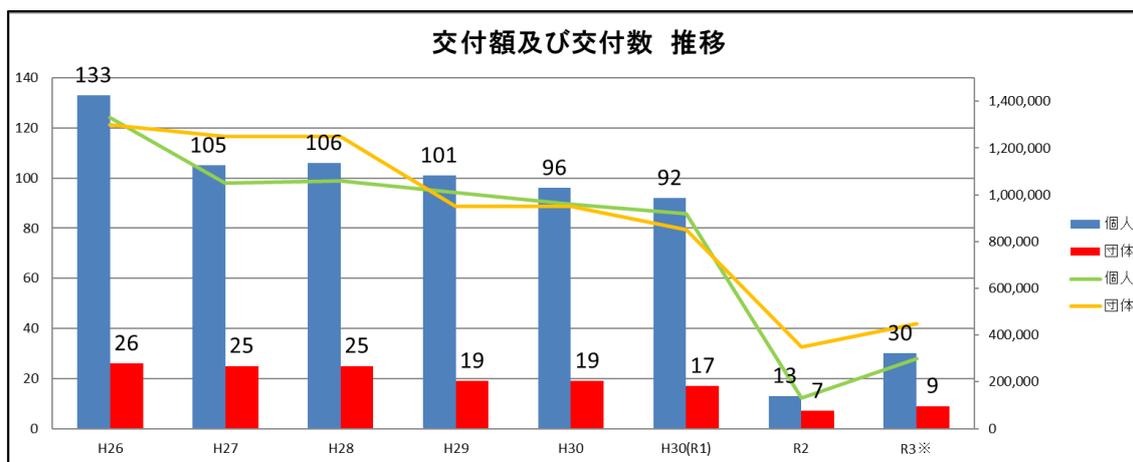
方針	概要
全国大会出場 報奨金の交付	市民のスポーツへの意欲を高めるとともに、競技力の向上及び振興を図るため、全国規模等のスポーツ大会やアマチュアスポーツ大会に出場する個人または団体に対して報奨金を交付し、競技活動支援をします。

#### ★報奨金交付件数等推移

※令和3年度については12月末時点

(単位：個人=人，団体=団体，交付額=円)

		H26	H27	H28	H29	H30	H30(R1)	R2	R3※	単価
交付数	個人	133	105	106	101	96	92	13	30	
	団体	26	25	25	19	19	17	7	9	
交付額	個人	1,330,000	1,050,000	1,060,000	1,010,000	960,000	920,000	130,000	300,000	10,000
	団体	1,300,000	1,250,000	1,250,000	950,000	950,000	850,000	350,000	450,000	50,000



▶ 報奨金交付式

## (2) スポーツを通じた地域活性化

本市の地域資源を最大限に生かした取組を推進していきます。また、自治会加入率の減少（平成 29 年度：49.8%，令和 3 年度：45.3%）にみられるように、希薄化しつつある地域コミュニティの活性化や地域への愛着意識の醸成を図るとともに、まちづくりや地域経済の活性化に関連する取組を推進していきます。

### 【具体的な取組：①積極的姿勢】

#### I アントラーズホームタウン DMO 等各関係機関との連携

方針	概要
スポーツ ツーリズムの推進	本市は都心や空港からも近い立地にありながら、豊かな自然に囲まれ、屋外・屋内を問わず年間を通じてスポーツを楽しめる環境があります。この特性を最大限に活かすため、DMO を主体として、地域の観光協会、商工会、JA 等の関連事業者との連携だけでなく、プロスポーツチーム、観光関連事業者、宿泊事業者、飲食事業者など多様な関係者との密接な連携を図り、スポーツツーリズムを核とした観光地域づくりの推進をしていきます。
スポーツ合宿の 誘致	本市は民間施設を含めると 15 面以上のサッカーグラウンドをもっており、全国から小学生、中学生、高校生チームによるスポーツ合宿が定着しています。サッカーのまち「鹿嶋」のブランド力を活かし、更なる誘致を図っていきます。  また東京 2020 オリンピック競技大会のサッカー競技の開催や、鹿島アントラーズの活躍（FIFA クラブワールドカップ 2016 準優勝、AFC アジアチャンピオンズリーグ 2018 優勝）により、「KASHIMA」の国際的知名度と認知度は高まっています。  新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていますが、アフターコロナに際しては、DMO を主体として、国内スポーツ合宿等に加え、アジア圏を中心としたインバウンドスポーツ合宿等の拡充を推進していきます。

▼観光を楽しみながらサイクリング



▼スリランカ・サッカーA 代表合宿



## II スポーツ大会の開催

方針	概要
サッカー	<p>◆鹿嶋サッカーフェスティバル</p> <p>ジュニアの部，ジュニアユースの部，ユースの部，レディースの部の4部門に，全国的な強豪チームが参加する大きな大会に成長しています。</p> <p>また春の部として，鹿嶋サッカーフェスティバル SPRING 鹿嶋市長杯 U-17 大会を開催し，地元の青少年のレベルアップにも着実に成果を实らせるとともに，サッカーのまち「鹿嶋」の名を県内外に広めています。</p> <p>ほかにも「日常にサッカーを」をコンセプトに，7人制大会を企画・運営し，市民が気軽にサッカーを楽しめる機会を提供していきます。</p>  <p>▲鹿嶋サッカーフェスティバル（レディースの部）</p>
フットサル	<p>◆鹿嶋市フットサル大会</p> <p>市のシンボルスポーツのひとつであるサッカーを，コミュニティスポーツとして楽しむとともに誰もが参加できる大会とし，市民スポーツの普及と広域的なスポーツ交流の機会とします。</p>
バスケット	<p>◆鹿嶋バスケットボールフェスタ</p> <p>オリンピック種目でもある3×3（スリーエックススリー）をコミュニティスポーツとして楽しむための大会とし，市民スポーツの普及と広域的なスポーツ交流の機会とします。</p>

武道

サッカーと並ぶ、本市のシンボルスポーツのひとつである武道大会（剣道・柔道）を通して、小中学生の武道の普及や心身の鍛練と相互の親睦を図り、正しく強い青少年を育成します。



▲塚原ト伝杯武道大会（剣道の部・柔道の部）

ビーチ・  
マリンスポーツ

様々なビーチスポーツ大会イベント（サッカー、バレー、ラン等）を海岸で開催し、子どもから大人まで広域的なスポーツ愛好者の交流を推進していくほか、ビーチ・マリンスポーツ国内外大会等の誘致によるビーチ活性化と海岸活用について検討します。



▲かしまビーチフェスタ

（ビーチサッカー、ビーチバレー大会、ボディボード体験）

各スポーツ・競技 団体主催大会	競技スポーツのみならずアマチュアスポーツも含めて、日頃の練習の成果を試す機会を提供し、市民のスポーツへの機運向上と市民相互の交流促進を支援します。
ささえるスポーツ 人材の育成	スポーツ大会の実施や誘致を成功させるためには、スポーツボランティア活動体制が必要です。スポーツ推進委員や市内高校部活動の協力を得つつ、市民がボランティア活動に参加しやすい仕組みづくりに取り組んでいきます。

### III 総合型地域スポーツクラブ活動の充実

方針	概要
自主事業等の 推進①	主に鹿嶋市まちづくり市民センター（体育館・庭球場）、高松緑地（プール・多目的球技場・野球場・庭球場・クラブハウス）、いきいきゆめプールなどで実施している、NPO 法人かしまスポーツクラブの自主事業を推進し、スポーツ活動とスポーツを通じた交流の促進と、クラブのモットーである「いつでも」「誰でも」「楽しく」身近で継続的なスポーツの場の提供を行います。
認知度の向上	令和 2 年度スポーツに関するアンケート調査では、「総合型地域スポーツクラブ」または「NPO 法人かしまスポーツクラブ」という組織を「聞いたことがない」と回答した方の割合が 16%、（未回答を含むと 49%）、「名称程度は聞いたことがある」と回答した方の割合が 35%と、充実した活動内容に対して認知度がうまく比例していない結果になっていることから、クラブの活動が認知される取組を支援していきます。

### IV 地域部活動への移行

方針	概要
スポーツ団体等との 連携	令和 5 年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向け、学校間で差が出ないよう運営団体や指導者の確保、平日と休日の協力体制など様々な課題を整理するとともに、運営団体と想定される総合型地域スポーツクラブや民間のスポーツクラブ、NPO 法人鹿嶋市スポーツ協会、各競技団体、スポーツ少年団等との連携・協力を図っていきます。
外部指導者の派遣	専門的知識・技能を有する地域指導協力者を中学校部活動に派遣し、技術的指導やアドバイスを行うことで、生徒一人ひとりの意欲向上を図ります。

**【具体的な取組：②差異化戦略】**

I NPO 法人鹿嶋市スポーツ協会の活動の充実

方針	概要
自主事業等の推進②	事務局の体制が大きく変わることによって、市民のスポーツ活動に影響がないよう補助金等による支援を行いつつ、スポーツ協会設立当初の活動理念と意義に合わせた自主事業の推進を図っていきます。
市民主体の活動強化	市内のスポーツ・競技団体を統括する NPO 法人鹿嶋市スポーツ協会と連携し、競技スポーツやスポーツ・レクリエーションなど市民一人ひとりがスポーツを楽しめる環境の整備に取り組みます。

II かしまアスリートフード（仮）の開発

方針	概要
大会やイベントでの提供	管理栄養士や関係団体と連携し、アスリートだけの食事だけでなく成長期の子ども、美容や健康などに興味のある人など、広く一般的に提供できる本市の特産品を使用したメニューを研究し、体調管理や体系管理、体質改善に役立てる取組を検討します。

**【具体的な取組：③段階的施策・改善】**

I スポーツを通じた地域コミュニティの維持と再生

方針	概要
市民向け体力テストの実施	市民が自分の体力を知り、日々の健康づくりや体力づくりに役立てることを目的に、エンジョイスポーツ開催時にあわせて気軽にできる「体力テスト」コーナーを設置します。 多くの市民に広がる取組として、段階的に各公民館区で協議していきます。
健康づくりスポーツ教室	各地区における市民の健康づくりや多世代交流の場として、各地区選出のスポーツ推進委員を中心に、各地区公民館単位でのスポーツ教室を推進します。

▶  
エンジョイスポーツでの  
体力テスト



【具体的な取組：④問題実態回避】

I スポーツを通じた交流人口の拡大と情報ネットワークの強化

方針	概要
調整機関の設置	本市の関係部署と、市民スポーツ活動団体や健康づくり活動団体の相互の情報交換と活動発展に寄与することを目的に組織された「鹿嶋市スポーツと健康づくり推進ネットワーク」を中心に、組織的なスポーツ・健康づくりの推進について協議していきます。
スポーツ交流の推進	参加者同士や地域住民等の交流を促進し、市民の体力向上とスポーツの振興を図るため、まちづくり委員会や地域団体等によるスポーツ交流を推進します。

II 学校スポーツ施設の有効活用

方針	概要
学校スポーツ施設開放の充実	市立の小中学校の体育館等、スポーツ施設を学校の教育活動に支障のない範囲で開放し、誰もが日常的にスポーツをすることができる機会の提供に努めるとともに、地域のスポーツ環境充実を通じて地域社会との連携推進を図ります。

★学校スポーツ施設開放利用登録団体 種目別推移

(単位：団体)

種目	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ソフトバレーボール	24	24	23	23	23	23
バドミントン	21	22	20	20	21	24
バレーボール	18	17	16	12	12	9
バスケットボール	14	9	9	13	12	9
サッカー	13	14	12	15	13	9
インディアカ	13	11	10	9	9	6
ミニバスケットボール	10	11	12	10	11	11
ダンス（社交ダンス等）	5	6	6	5	5	5
空手	3	3	3	3	2	4
卓球	3	3	3	2	2	1
新体操	3	3	3	3	3	3
柔道・杖道	3	3	3	4	3	3
なわとび・ドッジボール等	3	3	4	3	0	0
その他	3	4	1	3	6	2
合計	136	133	125	125	122	109

### (3) スポーツを通じた共生社会等の実現

東京 2020 オリンピック競技大会開催都市のレガシーとして、障がいの有無や年齢、性別、国籍等を問わず、すべての人がスポーツを楽しむとともに、お互いを理解尊重できる取組を推進していきます。

#### 【具体的な取組：①積極的姿勢】

##### I パラスポーツ・ニュースポーツの振興

方針	概要
学校授業での体験会等開催	本市の子どもたちは東京 2020 オリンピック競技大会を会場で観戦するという貴重な体験をしました。これを一過性のものとせず、大会ビジョンの1つである「多様性と調和」をテーマに、学校授業においてパラスポーツ体験会等を取り入れることで、競技の啓発を図るとともに「共生社会実現のために、自分たちに何ができるか」ということを子どもたちが自ら考える機会を提供し、「主体的、対話的で深い学び」の推進に努めます。
まちづくり 出前講座	市民等が主催する学習会、集会等にスポーツ推進委員を講師として派遣し、ボッチャ体験教室等を開催します。
地域での振興	世代を超えて誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションとして、ボッチャが各地区公民館事業として普及しており、地区対抗球技大会の種目にも採用されています。各地区選出のスポーツ推進委員を中心に更なる推進を図っていきます。
指導者の理解促進	障がい者の方が、安心してスポーツに参加するためには、障がいの基本内容を十分理解し、健康や安全管理を重視した指導者の存在が必要であることから、指導者養成講習会等に専門的な講師を派遣し、指導者の理解促進に努めます。



▲ブラインドサッカー元日本代表主将の落合啓士さんを学校に招いての体験会・講演会

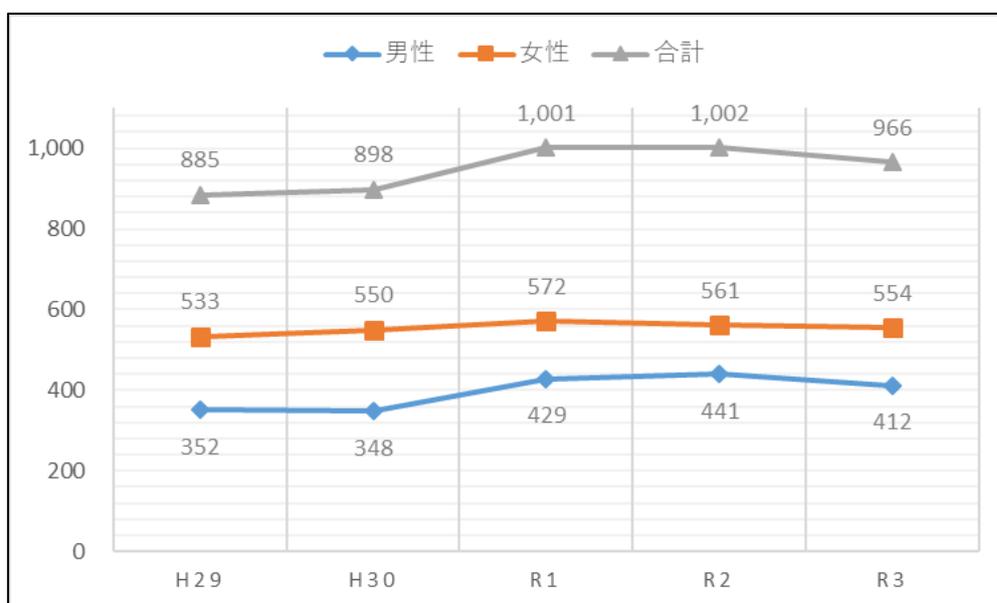
【具体的な取組：③段階的施策・改善】

I 外国人への対応

方針	概要
英語による施設利用案内	外国人利用者が不自由なく市立のスポーツ施設（学校スポーツ施設含む）を利用できるよう，国際的な主要言語である英語での施設案内を手法のひとつとして協議するとともに，求められる情報・サービスを適切に提供できる環境整備に努めます。
イベント等周知	市内に在住する外国人や留学生が，気軽に市や地域のスポーツイベントに参加できるよう，関係機関との連携を強化し，積極的な周知に努めます。

★市内の外国籍人口の推移

(基準月 12 月末，単位：人)



II ジェンダーの理解

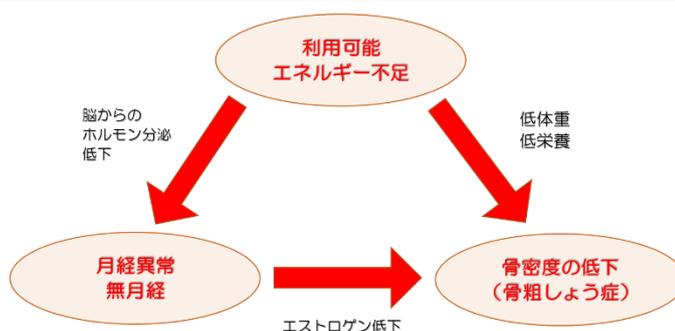
方針	概要
学習機会及び情報提供①	<p>トランスジェンダーであることを公表する選手が，自認する性別の категорияで東京 2020 オリンピック競技大会に出場するなど，世界ではスポーツ分野での男女格差，セクシャルマイノリティの参加などが認識され始めています。</p> <p>教育を受ける権利と同じく，健康的に運動する権利はすべての人に開かれるべきものであり尊重されるべきものと認識し，市関係部署や関係団体と連携し，すべての人が多様性を理解できる環境の実現に向けて努めていきます。</p>

【具体的な取組：④問題実態回避】

I 女性がスポーツを楽しむ環境づくり

方針	概要
女性指導者の支援と登用	<p>本市では、2006年（平成18年）に「第1次鹿嶋市男女共同参画計画」、2015年（平成27年）に第2次計画、2021年（令和3年）に第3次計画を策定し、同計画に基づき、市民・事業者との共創により、男女共同参画社会の実現を目指し、取組を進めてきましたが、依然としてスポーツ分野においては性別に基づく課題が根強く残っているのが現状です。</p> <p>特に指導者を希望する女性が、女性特有のライフイベント（出産や育児等）と選手育成の両立が困難であることを理由に、第一線を離れる事例が挙げられることから、関係機関と連携し、相談体制やサポート体制の充実に努めます。</p>
学習機会及び情報提供②	<p>女性のスポーツ参画が進む一方で、女性特有の問題・悩みがあり注意が必要となります。女性アスリートの注意すべき3つの項目として、「女性アスリートの三主徴」（摂食障害の有無によらないエネルギー不足・無月経・骨粗しょう症）が指摘されており、これらの徴候を放置した場合、思わぬ怪我により健康で楽しいスポーツライフを送れなくなるリスクがあります。</p> <p>本人だけでなく指導者や関係者も女性特有の問題・悩み等に関する知識を正しくもって、寄り添うことができるよう、市の関係部署やイベント等を通じて、誰もが正しい知識を得る機会の提供に努めます。</p>
スポーツに親しむ機会の提供	<p>スポーツイベントだけではなく、市関係部署が主催する女性を対象としたイベント等に、軽スポーツ体験コーナーやスポーツフォーラムを合わせて実施するなど、女性がスポーツに触れ親しむ機会の提供が図れるよう市関係部署と連携し協議します。</p> <p>また子育て世代の女性が、外にでなくても気軽にできる運動やストレッチの紹介動画配信等も併せて検討していきます。</p>

女性アスリートの三主徴  
 関連イメージ図





## 第5章 計画の進行管理

### 1 計画の推進体制

#### (1) 市関係各課との連携による計画の推進

本計画の目標達成の指針に係る市関係各課と連携を図り、事業協力や情報共有を積極的に行いながら計画的な事業の推進を図ります。

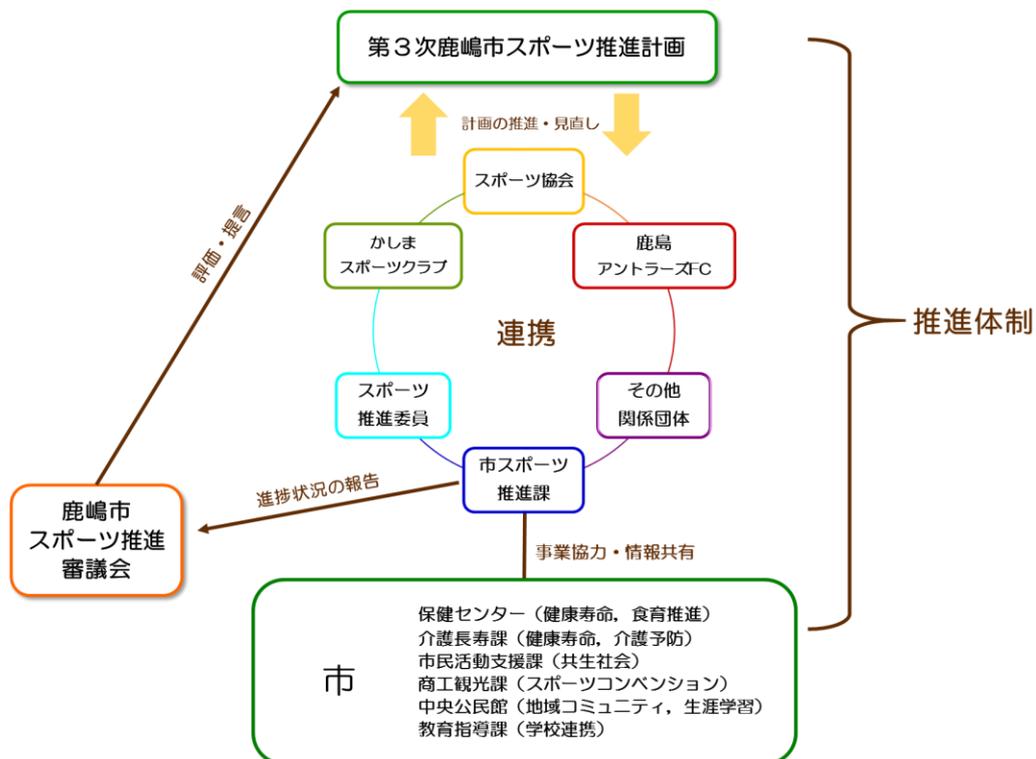
#### (2) スポーツ関係団体との連携による計画の推進

鹿嶋市スポーツ推進委員連絡協議会や、NPO 法人鹿嶋市スポーツ協会、NPO 法人かしまスポーツクラブなどのスポーツ関係団体と連携し、計画的な事業の推進を図ります。

### 2 計画の評価

本計画の進捗状況や指標の達成状況を定期的に「鹿嶋市スポーツ推進審議会」に報告し、必要な助言や提言を得て、適切な進行管理を図ります。

また計画期間中は、国・県及び市の関連計画との整合性を図りながら、5年目に計画の見直しを行います。



## 【参考資料】 令和2年度 鹿嶋市における運動・スポーツに関する調査 集計結果

市では、今後の生涯スポーツ振興の課題や方向性を検討するために、鹿嶋市が設置したスポーツ施設及び学校体育施設の利用団体の団員、カシマスポーツセンター等運動施設や各公民館などの公共施設来場者を対象に、アンケート調査を実施しました。

皆様の御意見を参考にし、今後の生涯スポーツの振興のために有効に活用していきます。

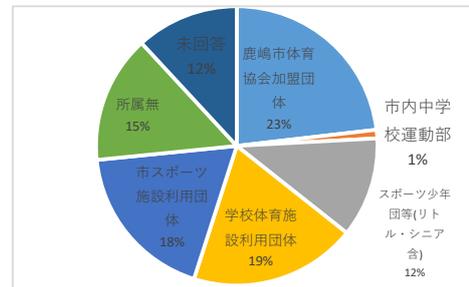
回答数:406（回収率:51.1%） 調査件数 794件

調査年月:令和3年3月

### 問1. 基礎的事項

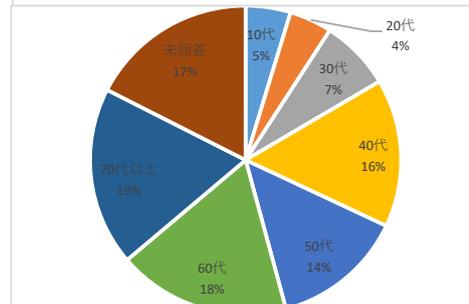
#### (1)あなたの団体区分

1	鹿嶋市体育協会加盟団体	94	23%
2	市内中学校運動部	4	1%
3	スポーツ少年団等(リトル・シニア含)	47	12%
4	学校体育施設利用団体	78	19%
5	市スポーツ施設利用団体	75	18%
6	所属無	60	15%
7	未回答	48	12%



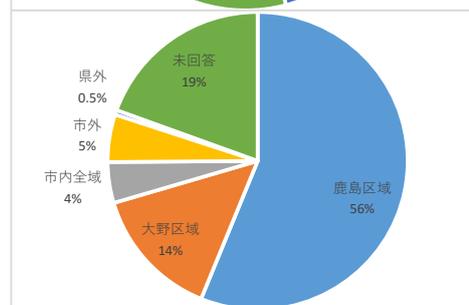
#### (2)あなたの年代

1	10代	19	5%
2	20代	18	4%
3	30代	30	7%
4	40代	63	16%
5	50代	56	14%
6	60代	73	18%
7	70代以上	76	19%
8	未回答	71	17%



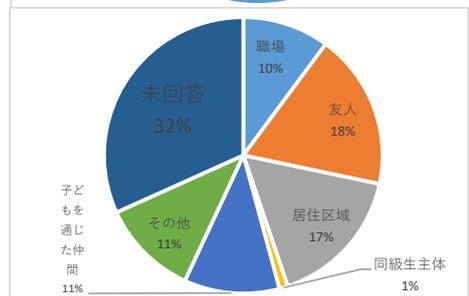
#### (3)あなたの居住区域

1	鹿島区域	228	56%
2	大野区域	58	14%
3	市内全域	18	4%
4	市外	21	5%
5	県外	2	0.5%
6	未回答	79	19%



#### (4)団体構成種別

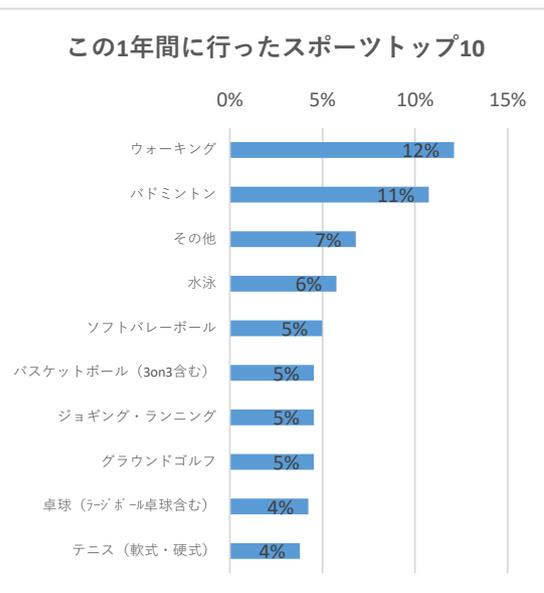
1	職場	41	10%
2	友人	74	18%
3	居住区域	67	17%
4	同級生主体	4	1%
5	子どもを通じた仲間	45	11%
6	その他	46	11%
7	未回答	129	32%



問2. あなたが行っているスポーツ活動の状況について、お答えください。

(1)あなたが、この1年間に行った運動・スポーツ種目をお答えください。(複数回答可)

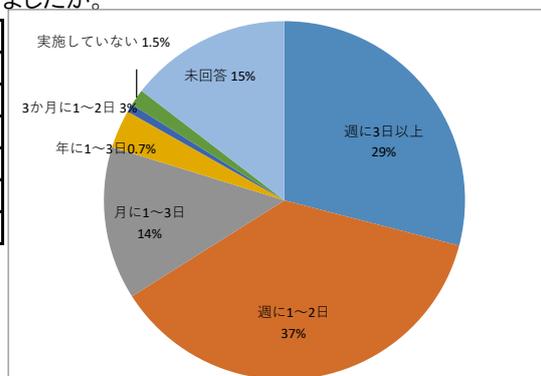
1	ウォーキング	80	12%
2	バドミントン	71	11%
3	その他	45	7%
4	水泳	38	6%
5	ソフトバレーボール	33	5%
6	バスケットボール(3on3含む)	30	5%
7	ジョギング・ランニング	30	5%
8	グラウンドゴルフ	30	5%
9	卓球(ラジホ-ル卓球含む)	28	4%
10	テニス(軟式・硬式)	25	4%
11	ゴルフ(練習含む)	25	4%
12	野球	20	3%
13	サッカー	19	3%
14	ストレッチング	19	3%
15	インディアカ	19	3%
16	バレーボール(6人制・9人制)	18	3%
17	水中ウォーキング・アクアビクス等	16	2%
18	体操(ラジオ体操、タンヘル体操、3B体操等)	14	2%
19	ソフトボール	12	2%
20	登山・トレッキング・ハイキング	11	1.7%
21	ウェイトトレーニング(マシン・フリーウエイト等)	11	1.7%
22	柔道	9	1.4%
23	サイクリング	9	1.4%
24	フットサル	8	1.2%
25	その他武道	8	1.2%
26	エアロビクス・青竹ビクスク	6	0.9%
27	エアロバイク・トレッドミル等の有酸素トレーニング	6	0.9%
28	ユニカール	5	0.8%
29	その他ニュースポーツ	4	0.6%
30	スキー・スノーボード	3	0.5%
31	エアロバイク・トレッドミル等の有酸素トレーニング	3	0.5%
32	剣道	2	0.3%
33	その他ウインタースポーツ	1	0.2%
34	その他ウォータースポーツ	1	0.2%
35	マラソン	1	0.2%
36	スケートボード・BMX・インラインスケート	1	0.2%



「この1年間に行った運動・スポーツ種目は何か?」という質問に対し、ウォーキングと答えた人が最も多く、次いでバドミントンが多いという結果になりました。手軽にできるスポーツが人気のようです。

(2)あなたは、この1年間、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行いましたか。

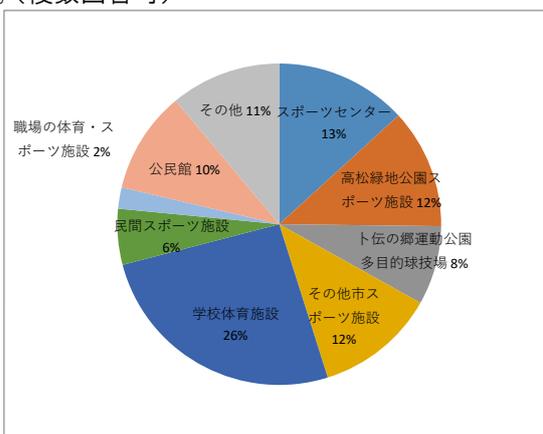
1	週に3日以上(年151日以上)	118	29%
2	週に1~2日(年51日~150日)	150	37%
3	月に1~3日(年12日~50日)	56	14%
4	3か月に1~2日(年4日~11日)	14	3%
5	年に1~3日	3	0.7%
6	実施していない	6	1.5%
7	未回答	59	15%



週に3日以上運動・スポーツを行う人は約3割ですが、週に1日以上運動・スポーツを行う人は約7割に及んでいます。

(3)あなたは、この1年間、主にどこで運動・スポーツを行いましたか。(複数回答可)

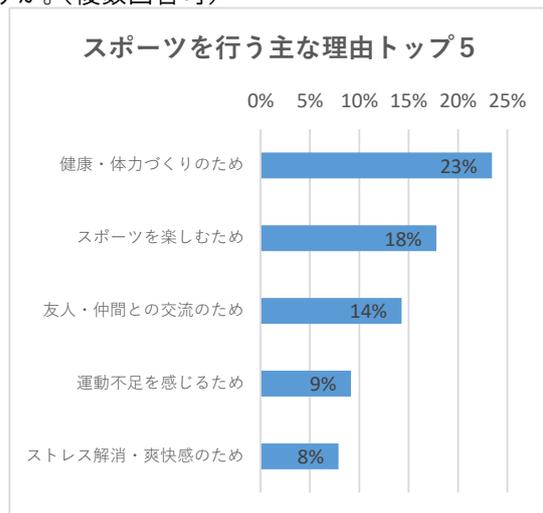
1	スポーツセンター	68	13%
2	高松緑地公園スポーツ施設	62	12%
3	ト伝の郷運動公園多目的球技場	41	8%
4	その他市スポーツ施設	62	12%
5	学校体育施設	133	26%
6	民間スポーツ施設	29	6%
7	職場の体育・スポーツ施設	11	2%
8	公民館	53	10%
9	その他	57	11%



学校体育施設の利用が最も多く、市スポーツ施設ではスポーツセンターが最もよく利用されているようです。

(4)あなたが、この1年間、運動・スポーツを行った主な理由は何ですか。(複数回答可)

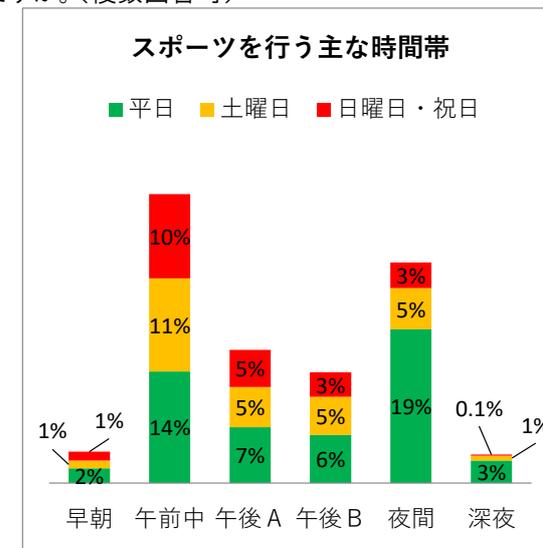
1	健康・体力づくりのため	246	23%
2	スポーツを楽しむため	187	18%
3	友人・仲間との交流のため	150	14%
4	運動不足を感じるため	96	9%
5	ストレス解消・爽快感のため	83	8%
6	大会に出場するため	66	6%
7	技術の習得、記録やスポーツ成績を向上させるため	62	6%
8	地域の人たちとの交流のため	53	5%
9	精神の修練や訓練のため	30	3%
10	生きがい・自己実現の機会として	28	3%
11	美容・ダイエットのため	23	2%
12	家族との交流のため	15	1%
13	その他	10	1%



健康・体力づくり、スポーツを楽しむ、友人・仲間との交流などを主な目的として、この1年間運動・スポーツを行った人が多いようです。

(5)あなたが、この1年間、運動・スポーツしたのは主にどの時間帯ですか。(複数回答可)

平日	早朝(5:00~9:00)	15	2%
	午前中(9:00~12:00)	114	14%
	午後A(12:00~15:00)	57	7%
	午後B(15:00~18:00)	49	6%
	夜間(18:00~21:00)	157	19%
	深夜(21:00以降)	23	3%
土曜日	早朝(5:00~9:00)	8	1%
	午前中(9:00~12:00)	95	11%
	午後A(12:00~15:00)	41	5%
	午後B(15:00~18:00)	39	5%
	夜間(18:00~21:00)	42	5%
	深夜(21:00以降)	5	1%
日曜日・祝日	早朝(5:00~9:00)	9	1%
	午前中(9:00~12:00)	86	10%
	午後A(12:00~15:00)	38	5%
	午後B(15:00~18:00)	25	3%
	夜間(18:00~21:00)	26	3%
	深夜(21:00以降)	1	0.1%

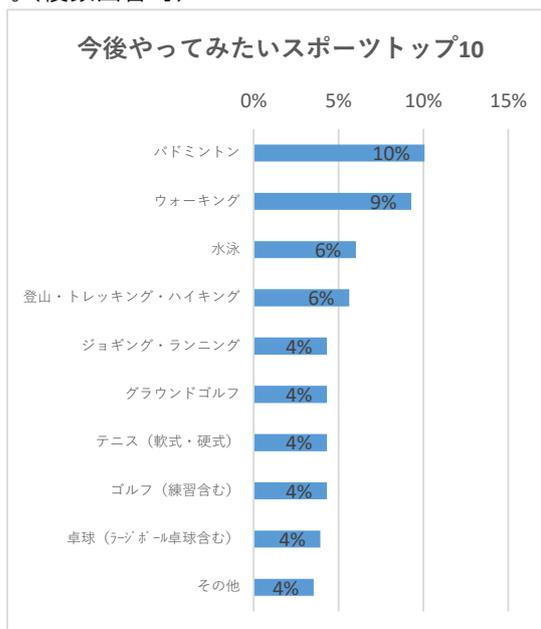


運動・スポーツを行う時間帯について、平日は夜間が最も多く、土日祝日においては午前中が最も多いという結果になりました。

問3. あなたが今後もスポーツ活動をする(継続)として、どうしていきたいかお答えください。

(1)あなたが、今後やってみたい運動・スポーツ種目をお答えください。(複数回答可)

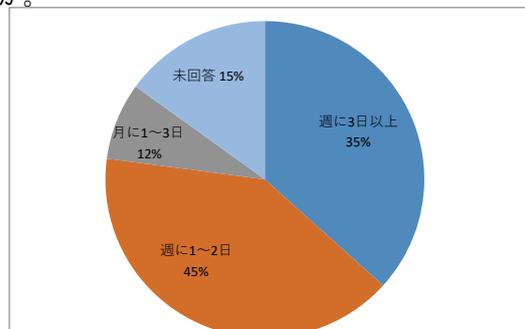
1	バドミントン	77	10%
2	ウォーキング	71	9%
3	水泳	46	6%
4	登山・トレッキング・ハイキング	43	6%
5	ジョギング・ランニング	33	4%
6	グラウンドゴルフ	33	4%
7	テニス(軟式・硬式)	33	4%
8	ゴルフ(練習含む)	33	4%
9	卓球(ラジボ-ル卓球含む)	30	4%
10	その他	27	4%
11	ストレッチング	26	3%
12	ソフトバレーボール	25	3%
13	バスケットボール(3on3含む)	25	3%
14	サイクリング	25	3%
15	サッカー	22	3%
16	野球	21	3%
17	バレーボール(6人制・9人制)	20	3%
18	水中ウォーキング・アクアビクス等	19	2%
19	ウエイトトレーニング(マシン・フリーウエイト等)	17	2%
20	体操(ラジオ体操、ダンベル体操、3B体操等)	16	2%
21	スキー・スノーボード	16	2%
22	インディアカ	14	2%
23	ソフトボール	13	2%
24	エアロビクス・青竹ビクスク	13	2%
25	エアロバイク・トレッドミル等の有酸素トレーニング	12	2%
26	その他武道	11	1.4%
27	柔道	10	1.3%
28	フットサル	10	1.3%
29	ユニカール	5	0.7%
30	その他ニュースポーツ	5	0.7%
31	エアロバイク・トレッドミル等の有酸素トレーニング	3	0.4%
32	剣道	3	0.4%
33	その他ウォータースポーツ	3	0.4%
34	マラソン	3	0.4%
35	スケートボード・BMX・インラインスケート	1	0.1%
36	その他ウィンタースポーツ	0	0.0%



「今後やってみたい運動・スポーツは何ですか?」という質問では、前問「この1年間に  
行った運動・スポーツは何ですか?」と類似した結果となっており、現在行っている運動・ス  
ポーツを継続したいと考えている方が多いよう  
です。

(2)あなたは、今後どのくらいの頻度で運動・スポーツを行いたいですか。

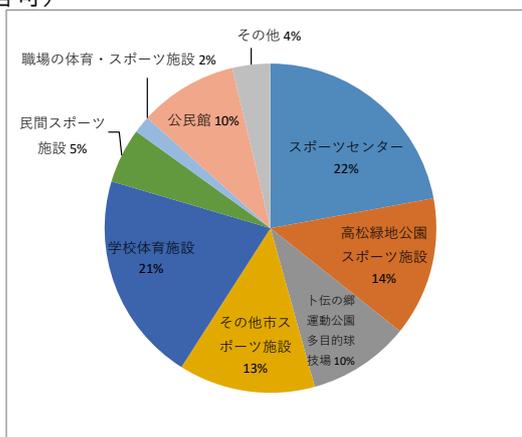
1	週に3日以上(年151日以上)	149	37%
2	週に1~2日(年51日~150日)	164	40%
3	月に1~3日(年12日~50日)	32	8%
4	3か月に1~2日(年4日~11日)	0	0%
5	年に1~3日	0	0%
6	実施したくない	0	0%
7	未回答	61	15%



この1年間に週1日以上運動・スポーツを行った人は約7割で  
したが(前問参照)、今後に関しては8割の人が週1日以上運動・ス  
ポーツを行いたと考えているようです。

(3)あなたは、主にどこで運動・スポーツを行いたいですか。(複数回答可)

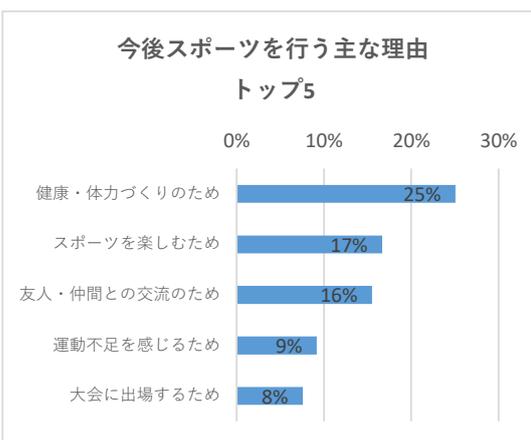
1	スポーツセンター	131	22%
2	高松緑地公園スポーツ施設	81	14%
3	ト伝の郷運動公園多目的球技場	59	10%
4	その他市スポーツ施設	79	13%
5	学校体育施設	122	21%
6	民間スポーツ施設	32	5%
7	職場の体育・スポーツ施設	10	2%
8	公民館	57	10%
9	その他	22	4%



前問「この1年間主にどこで運動・スポーツを行いましたか?」とほぼ一致した結果となっており、今後も同じ場所で運動・スポーツを行いたいと考えている人が多いようです。

(4)あなたが、今後も運動・スポーツを行うとして、何のために行いますか。(複数回答可)

1	健康・体力づくりのため	281	25%
2	スポーツを楽しむため	187	17%
3	友人・仲間との交流のため	174	16%
4	運動不足を感じるため	103	9%
5	大会に出場するため	85	8%
6	ストレス解消・爽快感のため	58	5%
7	地域の人たちとの交流のため	59	5%
8	技術の習得、記録やスポーツ成績を向上させるため	55	5%
9	生きがい・自己実現の機会として	34	3%
10	精神の修練や訓練のため	32	3%
11	美容・ダイエットのため	33	3%
12	家族との交流のため	19	1.7%
13	その他	2	0.2%

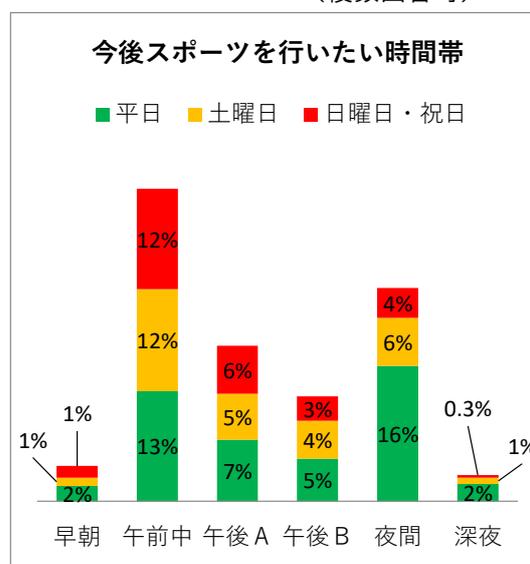


前問「この1年間運動・スポーツを行った主な理由は何ですか?」と同じく理由は多岐に渡っており、このことから運動・スポーツは多方面の役割を担っていることが伺えます。

(5)あなたが、今後も日常生活に運動・スポーツを取り入れるとした場合、どの時間帯がよいですか。

(複数回答可)

平日	早朝(5:00~9:00)	17	2%
	午前中(9:00~12:00)	122	13%
	午後A(12:00~15:00)	68	7%
	午後B(15:00~18:00)	47	5%
	夜間(18:00~21:00)	150	16%
	深夜(21:00以降)	19	2%
土曜日	早朝(5:00~9:00)	9	1%
	午前中(9:00~12:00)	113	12%
	午後A(12:00~15:00)	51	5%
	午後B(15:00~18:00)	42	4%
	夜間(18:00~21:00)	53	6%
	深夜(21:00以降)	7	1%
日曜日・祝日	早朝(5:00~9:00)	13	1%
	午前中(9:00~12:00)	111	12%
	午後A(12:00~15:00)	53	6%
	午後B(15:00~18:00)	27	3%
	夜間(18:00~21:00)	33	4%
	深夜(21:00以降)	3	0.3%

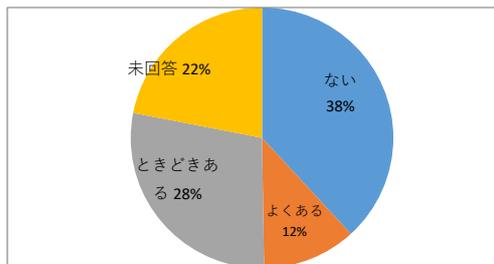


前問「この1年間、運動・スポーツしたのは主にどの時間帯ですか?」と同様、平日は夜間、土日祝日は午前中に運動・スポーツを行いたいと考えてる人が多いようです。

問4. スポーツ施設の予約状況と活動について、お答えください。

(1)あなたが施設を予約する際、予約が取れないことがありますか。

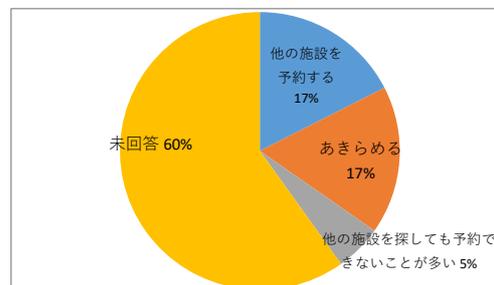
1	ない	155	38%
2	よくある	47	12%
3	ときどきある	115	28%
4	未回答	89	22%



(2)希望する施設の予約が取れない場合、あなたはどうしますか。

(1)「よくある」「時々ある」と回答した人のみお答えください。

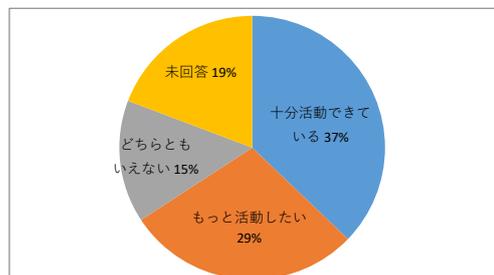
1	他の施設を予約する	71	17%
2	あきらめる	70	17%
3	他の施設を探しても予約できないことが多い	22	5%
4	未回答	243	60%



予約が取れないことが「よくある」「ときどきある」と答えた人は約4割に上り、そのうち、他の施設を探しても予約出来なかつたり諦めたりしてしまう人も多いようです。

(3)現在のスポーツ活動をどのように感じていますか。

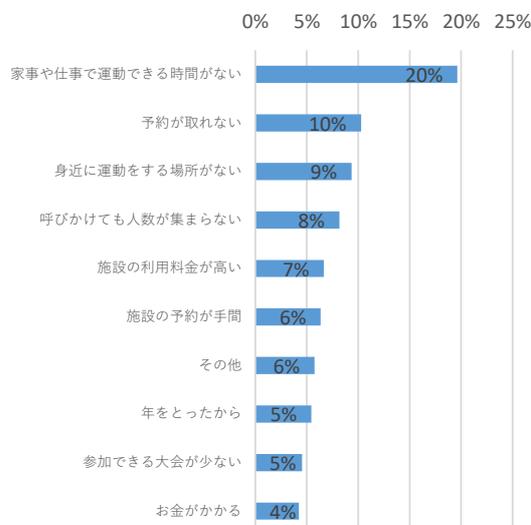
1	十分活動できている	151	37%
2	もっと活動したい	116	29%
3	どちらともいえない	61	15%
4	未回答	78	19%



(4)あなたが十分に運動できない(しない)主な理由は何ですか。(複数回答可)

1	家事や仕事で運動できる時間がない	65	20%
2	予約が取れない	34	10%
3	身近に運動をする場所がない	31	9%
4	呼びかけても人数が集まらない	27	8%
5	施設の利用料金が安い	22	7%
6	施設の予約が手間	21	6%
7	その他	19	6%
8	年をとったから	18	5%
9	参加できる大会が少ない	15	5%
10	お金がかかる	14	4%
11	特に理由はない	14	4%
12	施設の利用時間が短い	10	3%
13	子供に手がかかるため時間が取れない	9	3%
14	指導してくれる人がいない	10	3%
15	面倒だから	8	2%
16	運動よりも他のことに興味がある人が多い	7	2%
17	大会・イベント情報が入手できない	5	1.5%
18	人間関係が大変	2	0.6%

十分に運動できない主な理由  
トップ10

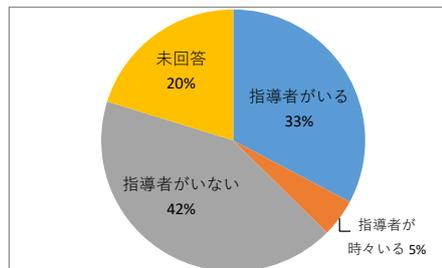


「十分活動できている」と答えた人は約4割でした。残りのうち約3割が十分活動できていないと回答した。理由としては、家事や仕事で時間がない、予約が取れない等が挙げられました。

**問5. あなたの指導者について、お答えください。**

(1)あなたに指導者はいますか。

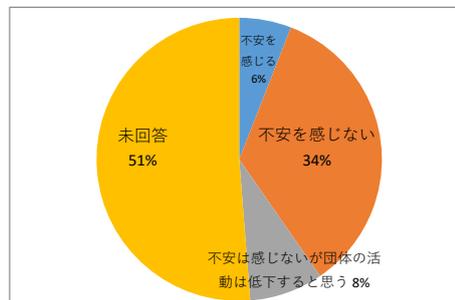
1	指導者がいる	133	33%
2	指導者が時々いる	19	5%
3	指導者がいない	172	42%
4	未回答	82	20%



(2)指導者(取りまとめる人)に関して、今後の活動に不安を感じることがありますか。

(1)で「指導者が時々いる」「指導者がいない」と回答した人のみお答えください。

1	不安を感じる	24	6%
2	不安を感じない	140	34%
3	不安を感じないが団体の活動は低下すると思う	34	8%
4	未回答	208	51%



指導者がいると答えた人は約3割で、指導者がいないor時々かいない人でも約4割が「不安を感じない」と答えました。

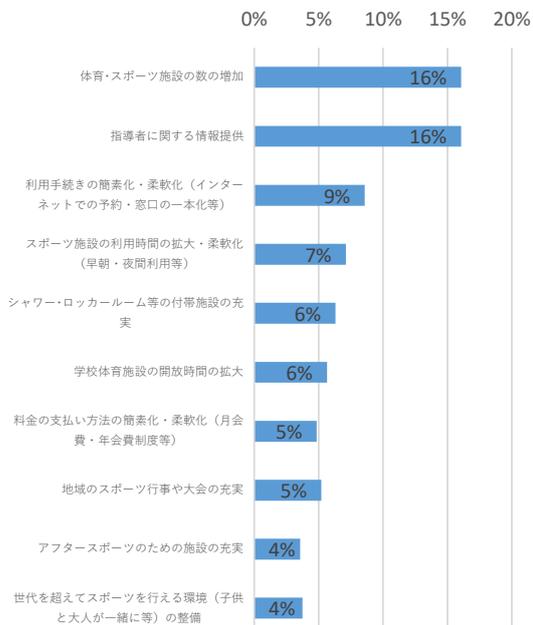
**問6. あなたが、より良い環境で運動・スポーツを楽しむために、次のことについてお答えください。**

(1)あなたは、地域におけるスポーツ環境にどのようなことを望んでいますか。(複数回答可)

1	体育・スポーツ施設の数の増加	176	16%
2	指導者に関する情報提供	176	16%
3	利用手続きの簡素化・柔軟化(インターネットでの予約・窓口の一本化等)	94	9%
4	スポーツ施設の利用時間の拡大・柔軟化(早朝・夜間利用等)	78	7%
5	シャワー・ロッカールーム等の付帯施設の充実	69	6%
6	学校体育施設の開放時間の拡大	62	6%
7	料金の支払い方法の簡素化・柔軟化(月会費・年会費制度等)	53	5%
8	地域のスポーツ行事や大会の充実	57	5%
9	アフタースポーツのための施設の充実	39	4%
10	世代を超えてスポーツを行える環境(子供と大人と一緒に等)の整備	41	4%
11	個人で参加できるスポーツプログラムの提供	37	3%
12	トップレベルの選手との交流機会の提供	37	3%
13	特に希望することは無い	32	3%
14	トップレベルの競技スポーツの大会等の誘致(見るスポーツの環境整備)	30	3%
15	施設利用やサークル・クラブ活動、イベント等の地域スポーツについての情報提供の充実	29	3%
16	スポーツサークル・同好会へのクラブハウスの整備	23	2%
17	スポーツ施設への指導者の配置	17	2%
18	健康やスポーツに関する講演会等の実施	14	1.3%
19	サークル・同好会への適切な指導者の派遣	11	1.0%
20	スポーツ教室の充実(レベル、種目数 等)	8	0.7%
21	スポーツボランティアの機会の提供	7	0.6%
22	その他	5	0.5%

**地域のスポーツ環境に望むこと**

**トップ10**

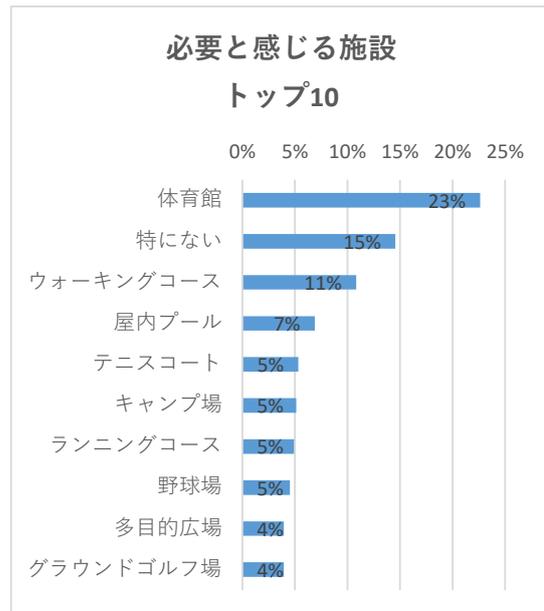


地域のスポーツ環境に対する要望は、体育・スポーツ施設の増加、指導者に関する情報提供が最も多い。また、利用手続きの簡素化・柔軟化や利用時間の拡大などの要望も多いようです。

(2) 今後、あなたが活動するなかで、特に施設整備が必要と感じる施設がありましたら記入して下さい。

(複数回答可)

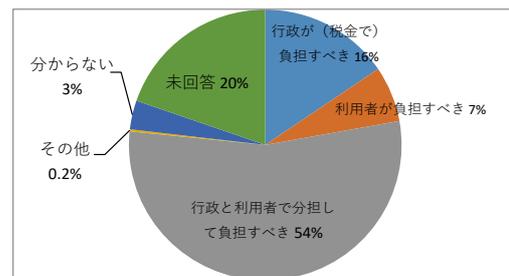
1	体育館	115	23%
2	特にない	74	15%
3	ウォーキングコース	55	11%
4	屋内プール	35	7%
5	テニスコート	27	5%
6	キャンプ場	26	5%
7	ランニングコース	25	5%
8	野球場	23	5%
9	多目的広場	20	4%
10	グラウンドゴルフ場	20	4%
11	トレーニング場	14	3%
12	屋外プール	12	2%
13	陸上競技場	10	2%
14	サッカー場	8	2%
15	その他	8	2%
16	柔道場	7	1.4%
17	探検遊具コース	7	1.4%
18	ソフトボール場	6	1.2%
19	フットサル場	5	1.0%
20	弓道場	3	0.6%
21	ゲートボール場	3	0.6%
22	剣道場	2	0.4%
23	ターゲットバードゴルフ場	2	0.4%
24	クロッケー場	1	0.2%
25	相撲場	0	0%
26	ハイキングコース	0	0%



「特に施設整備が必要と感じる施設は何ですか？」という質問に対しては、体育館と答えた人が際立って多く、特に必要ないと感じている人も多いようです。

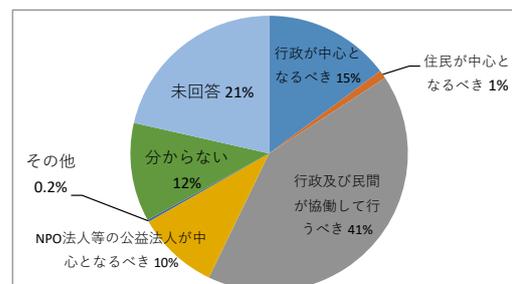
(3) 運動・スポーツを行う際に必要な経費は誰が負担すべきと考えますか。

1	行政が(税金で)負担すべき	63	16%
2	利用者が負担すべき	27	7%
3	行政と利用者で分担して負担すべき	221	54%
4	その他	1	0.2%
5	分からない	14	3%
6	未回答	80	20%



(4) スポーツに関するサービスは誰が中心となって準備・提供すべきと考えますか。

1	行政が中心となるべき	60	15%
2	住民が中心となるべき	4	1%
3	行政及び民間が協働して行うべき	168	41%
4	NPO法人等の公益法人が中心となるべき	39	10%
5	その他	1	0.2%
6	分からない	47	12%
7	未回答	87	21%



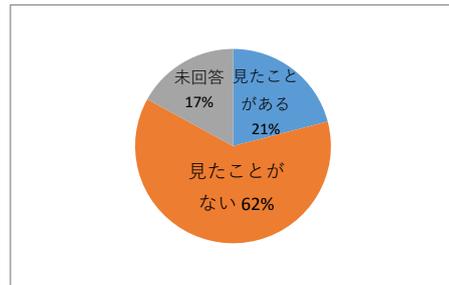
経費の負担とサービスの準備・提供についての質問では、「行政と利用者で分担して負担すべき」「行政及び民間が協働して行うべき」と答えた人が多数を占め、受益者負担・住民主体の考え方が一定の理解を得られているようです。

**問7. 鹿嶋市が開設しているホームページ「かしまスポーツナビ」についてお答えください。**

(1)あなたは、かしまスポーツナビを観たことがありますか。

1	見たことがある	85	21%
2	見たことがない	252	62%
3	未回答	69	17%

鹿嶋市のスポーツ情報を発信している「かしまスポーツナビ」を観たことがない方が圧倒的多数であり、これから周知を徹底していく必要があるようです。



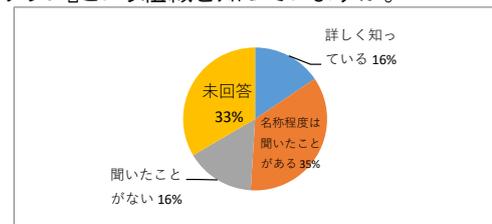
(2)かしまスポーツナビに掲載してほしい情報がありましたら記入してください。

- ・各カテゴリーの大会の情報などの詳細。
- ・更新して下さい。
- ・各施設の利用状況のリアルな情報が分かるようにしてほしい。
- ・情報が古すぎて話にならない。
- ・関連団体の情報が少なすぎる。登録団体は情報量を増やすべき。自分が関係していない情報についてはまず見ない。
- ・一度くらいしか見ていないのでわからない。
- ・分かりやすい予約状況等。
- ・団体の特集。
- ・体育施設の空き状況。
- ・どんなスポーツ団体がいつどこで活動しているか掲載してほしい。できれば代表者の連絡先も。
- ・スポーツ団体のPR。
- ・各競技団体のPR。同好会その他サークルの紹介。
- ・個人で参加できるスポーツプログラムの情報。
- ・各団体の情報。
- ・色々なスポーツの情報量の充実。

**問8. 総合型地域スポーツクラブについて、お答えください。**

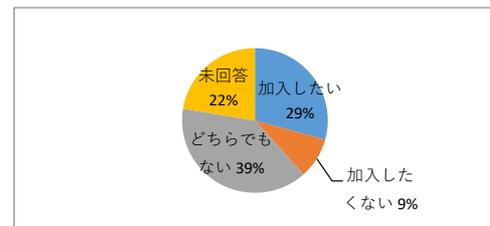
(1)あなたは『総合型地域スポーツクラブ』または『NPO法人かしまスポーツクラブ』という組織を知っていますか。

1	詳しく知っている	63	16%
2	名称程度は聞いたことがある	144	35%
3	聞いたことがない	63	16%
4	未回答	136	33%



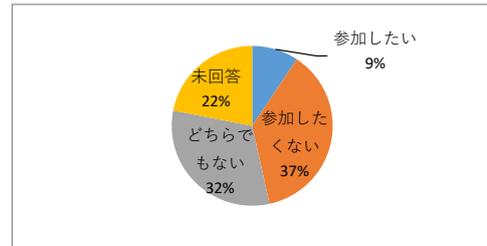
(2)あなたの住んでいる地域(公民館単位地区など)に総合型地域スポーツクラブがあるとしたら、加入したいですか。

1	加入したい	119	29%
2	加入したくない	37	9%
3	どちらでもない	159	39%
4	未回答	91	22%



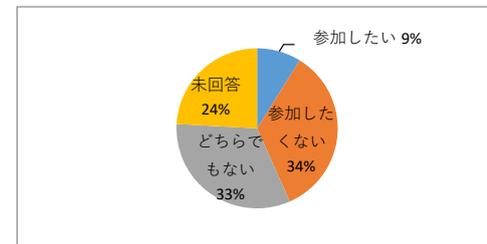
(3) 総合型地域スポーツクラブにスポーツ種目の指導者として参加してみたいですか。

1	参加したい	38	9%
2	参加したくない	151	37%
3	どちらでもない	128	32%
4	未回答	89	22%



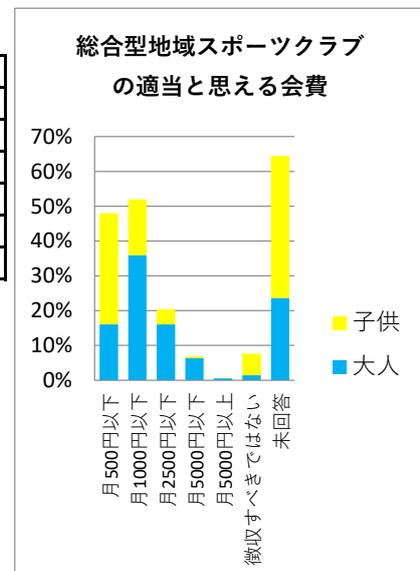
(4) 総合型地域スポーツクラブに役員や運営委員・事業の企画立案運営のスタッフ等として参加してみたいですか。

1	参加したい	36	9%
2	参加したくない	140	34%
3	どちらでもない	132	33%
4	未回答	98	24%



(5) あなたが総合型地域スポーツクラブに加入するとしたら、月どのくらいの会費(保険料除く)が  
 適当であると思いますか。

		<大人>		<子ども>	
1	月500円以下	65	16%	130	32%
2	月1000円以下	146	36%	65	16%
3	月2500円以下	65	16%	18	4%
4	月5000円以下	26	6%	2	0%
5	月5000円以上	2	0%	0	0%
6	徴収すべきではない	6	1%	25	6%
7	未回答	96	24%	166	41%



総合型地域スポーツクラブに加入したいかどうかについての質問では、「加入したい」が「加入したくない」を上回りました。指導者や運営委員等として参加したいかどうかについての質問でも、「参加したくない」が「参加したい」を上回る結果となりました。また、会費についての質問では、大人は月1000円以下、子どもは月500円以下が適当であると多くの方に考えられているようです。

## ○鹿嶋市スポーツ推進審議会条例

平成23年9月21日

条例第21号

鹿嶋市スポーツ振興審議会条例（昭和49年条例第11号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号。以下「法」という。）第31条の規定に基づき、鹿嶋市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第2条 審議会は、次に掲げるスポーツの推進に関する重要事項について教育委員会の諮問に応じ調査審議し、及びこれらの事項に関し教育委員会に建議する。

- （1）法第10条第1項に規定するスポーツ推進計画に関すること。
- （2）法第35条の規定により補助金の交付について意見を述べること。
- （3）スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- （4）スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- （5）スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- （6）スポーツの関係団体の育成に関すること。
- （7）スポーツの技術水準の向上に関すること。
- （8）スポーツによる事故の防止に関すること。
- （9）前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

（組織）

第3条 審議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- （1）鹿嶋市教育会を代表する者
- （2）鹿嶋市スポーツ推進委員を代表する者
- （3）スポーツに関する学識経験のある者
- （4）スポーツの団体を代表する者
- （5）スポーツの指導、実践をしている者
- （6）その他教育委員会が必要と認める者

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

（委任）

第5条 この条例に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にスポーツ振興法（昭和36年法律第141号）第18条第4項の規定により任命された鹿嶋市スポーツ振興審議会（以下「旧審議会」という。）の委員である者は、この条例の施行の日に、第3条第2項の規定により、審議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる者の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、同日における旧審議会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

## ○鹿嶋市スポーツ推進審議会規則

平成23年9月27日

教委規則第12号

鹿嶋市スポーツ振興審議会規則（昭和49年教委規則第2号）の全部を次のように改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、鹿嶋市スポーツ推進審議会条例（平成23年条例第21号）第5条の規定に基づき、鹿嶋市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 審議会に、会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 3 会長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 審議会の会議は、会長が招集する。

- 2 会議は、定例会及び臨時会とする。
- 3 定例会は、年3回とする。
- 4 臨時会は、会長が必要と認めるとき、これを招集する。
- 5 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 6 会議の議決は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（事務処理）

第4条 審議会の事務は、スポーツ推進担当課において処理する。

（委任）

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この規則の施行の際現に鹿嶋市スポーツ振興審議会（以下「旧審議会」という。）の会長又は副会長である者は、この規則の施行の日、第2条第2項の規定により、審議会の会長又は副会長として選任されたものとみなす。

## 鹿嶋市スポーツ推進審議会委員名簿

(敬称略)

役職	氏名	所属等	区分
会長	原 弘	NPO法人鹿嶋市スポーツ協会 会長	第4号
副会長	小野 忠志	NPO法人かしまスポーツクラブ 理事長	第4号
	山本 勇	鹿嶋市教育会(高松中学校 校長)	第1号
	大岩 一郎	鹿嶋市スポーツ推進委員(連絡協議会会長)	第2号
	岩崎 敏和	学識経験者(鹿島高等学校サッカー部顧問)	第3号
	小林 裕明	学識経験者(小山記念病院整形外科部長)	第3号
	杉山 美智子	学識経験者(管理栄養士)	第3号
	瀬川 美枝子	実践者・指導者 (ビーチマリンスポーツ, 国体キッズダンス指導者)	第5号
	下曾小川裕起	指導者 (鉢形ジュニア新体操スポーツ少年団) (国体キッズダンス指導者)	第5号
	佐藤 初美	指導者(JPBA認定インストラクター)	第5号
	中野 陽介	日本製鉄(株)東日本製鉄所 人事総務室	第6号
	堀之内 寛	(株)鹿島アントラーズFC マーケティンググループ 地域連携チーム	第6号

任期：令和2年8月1日～令和4年7月31日

第3次鹿嶋市スポーツ推進計画  
令和4年3月

発行 鹿嶋市教育委員会  
編集 鹿嶋市教育委員会事務局スポーツ推進課  
〒314-8655 鹿嶋市平井 1187-1  
TEL 0299-82-2911  
FAX 0299-83-7894  
Email [sports1@city.ibaraki-kashima.lg.jp](mailto:sports1@city.ibaraki-kashima.lg.jp)